大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 八月二十八日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

惡性の反日事件頻發に鑑み 毅然たる對策決定
けふ、外、陸、海三相會議で 對ソ不法越境も協議

【東京國通】最近成都の邦人虐殺事件始め支那各地に惡性の反日行爲頻發し南京政府の表面的に親日的態度にも拘らず日支關係は現實に支那側官民の不誠實により著しく歪曲されんとしつゝあり、帝國政府としても毅然たる態度を確定して最近の事態に對處する必要あるため有田外相、寺內陸相及び永野海相は廿八日定例閣議散會後三相會議を開き成都事件其の他に關し現地より到達せる報告に基き今後の根本的對策及び應急の善後措置に就き重要協議を行ふ豫定である、尙ほ有田外相は右三相會議に滿ソ國境紛爭處理委員會並に最近のソ聯側の不法越境問題に關して報告をなし重要協議を遂げる筈である

國民政府に誠意認められず
外務當局斷乎態度を決定

【東京國通】成都事件に關しては外務省では現地に派遣した各官憲よりの公電到着を待ち斷乎たる態度を執るべく待機の姿勢をとつてゐるが、川越大使始め在支使臣より外務省に寄する進言は孰れも此際排日空氣の根絶を期すべしとの强硬意見が有力化してゐる而して國民政府當局には誠意の認むべきもの無く責任を共產分子にのみ轉嫁して根本原因たる黨部及び政府の排日煽動の責任回避の態度を執つてゐるのみならず問題を地方的問題と見做して極めて小規模の取扱ひを爲さんとする態度を示すに至つたので外務省では成行を重大視し詳細なる公電到着を待ち左の如き方針に則り斷乎たる態度を執る方針を決定した模樣である

一、今回の事件發生は南京政府が表面排日取締りを口にしながら裏面に於てこれを政治的に利用すべく黨部其他諸團體を使嗾し支那國民間に排日的風潮を煽つたことに基因することを否めない、よつて國民政府は此際大いに自覺自省し昨年春發布せる邦交敦睦令の實行を各地方官憲並に黨部に嚴命しこれを徹底せしむべきことを要求する、而して排日思想の根本的淸算を行はしめる、之が爲め各種排日團體を解散新聞雜誌の排日記事の取締り、排日敎科書の改編等を行ふのみならず之等機關をして東亞大局の見地より積極的に日支提携の空氣を國民に浸透せしめる

一、今回の事件に關しては犯人の處罰、國民政府の陳謝損害賠償、將來の保證等の要求は勿論提出するが、特に將來の保證に就ては嚴重なる實行を要求する

一、成都總領事館は大正七年以來の既得權益なるを以て今回の事件とは關係なく飽迄再開を要求する、國民政府は宜敷く再開を援助し、岩井總領事代理の事務遂行を遺憾なからしむべきである、若し商埠地に非ざれば領事館設置を許さずとせば宜敷く成都を新たに商埠地として各國に開放すべきである

成都事件詳報
＝駐支大使館公表＝

【上海廿七日發國通】重慶糟谷領事午後七時發八時大使館着公表＝賀國光(四川行營參謀團主任)の報告に依れば廿四日午前成都の省城公園に於て總領事館再開の民衆反對大會が開催され同午後街頭游行に移つたが、民衆は數班に分れて各方面を練り步き夕方大川旅館を襲擊した、當時日本人四名中渡邊、深川、田中の三氏は町を見物、午後早く宿に歸り瀨戶氏は商用に出かけ夕方暴徒襲擊直前に歸つた、遭難當時公安局より約十名の巡警が旅館に派遣され保護に當つてゐたが、巡警は暴徒に對し四名を特辨公署に保護收容のため暴徒の解散を圖つたが、暴徒は聽き容れず各方面より續々押寄せ暴行した、四名は宿の裏の塀を乘越へ直ちに避難したが其後各自ちりぢりになつたが、一名は幸ひ巡捕が辛ふじて附近の公安局分局に保護收容他の三名は一時行方不明となりしが、公安局長自身が負傷者一名を救出收容、其後二名は外城で屍體となつて發見された、當時支那側でも混雜中巡警一名死亡、數名負傷、民衆も十數名負傷、暴徒の中には少數の學生も混つてゐたが、之等は不逞分子共產黨の煽動に乘つたものと目さる、當局では首魁者を逮捕廿五日二名を銃殺、共謀者の檢擧に當つてゐる、之がため廿五日も騷擾があつた廿六日に至り暴動は鎭定した、當時支那側當局はこの民衆運動があつた場合は軍隊を派遣警備に當る筈であつたにも拘らず單に巡警の警備にのみにまかしてゐたのは重大な手落ちで遲れ馳せに軍隊が出動したが、現場に間に合はざりしは遺憾な事であつた

尙賀國光より事件は官憲と些しも關係なき故日本側の憤慨は尤もだが穩便に願ひ度いとの劉湘よりの傳言を傳へたが糟谷領事は單に聽き置くに止めた

平戶、保津兩艦
嚴重事態を監視

【漢口廿七日發國通】重慶に碇泊中の砲艦保津は目下遡江中の砲艦平戶と交代、下航の豫定であつたが、成都事件の重大性に鑑み重慶に引續いて碇泊平戶と共に情勢を嚴重監視

實地共同調查

【南京廿七日發國通】國民政府外交部は成都不祥事件調查のため廿七日外交部專員一名、情報司日本科員一名を成都に急派した、廿八日成都の遭難現場で我が糟谷重慶領事等と立會の上實地共同調查を開始する事となつた

四川省に
邦交敦睦令實施

【南京廿七日發國通】成都事件に拘らず狼狽した行政院は自國の立場を有利に導くステートメントを發表したが、今度は劉湘、四川省主席に邦交敦睦令を全省に公布するやう電命した

志波重慶署長
死体檢證

【成都廿八日發國通至急報】志波重慶領事館警察署長等が死體檢證の結果右は渡邊、深川兩氏なる事判明、兩氏の死體は腐爛目もあてられぬ有樣である、尙ほ田中氏は病院に瀨戶氏は督辨公署に夫々收容手當中

隴海、廣九兩鐵道 借欵問題解決か
―ロンドン各紙の報道―

【東京國通】廿七日吉田駐英大使より外務省に達した電報によれば最近のロンドン各紙は廿四日ブラッセル發電報として隴海鐵道借欵成立に關し支那政府側と債權者委員會との間に

一、本年七月より年利一分五厘の割にて利子を支拂ふ
二、利率は四分に達するまで每年五分宛增加す
三、支拂延滯中の利札は取消す

との協定が成立したとの旨を報ずると共に廿六日の各紙は廣九鐵道借欵成立問題も左記條件により解決を見た旨を報道した

一、利子は最初の廿年間二分五厘、其後は五分の割にて支拂ふ、但し鐵道の純益廿萬弗を超えたる時は超過分は最高五分に至るまで利子增額に當て殘金は元金の支拂增加に充當する
二、利子支拂は千九百三十七年六月一日より開始す
三、支拂延滯中の利子五分の四は取消し殘餘に對しては無利子の假證券を發行する
四、千九百三十六年六月一日より年五十五萬弗(千九百四十一年六月より八十萬弗に增加)の債務支拂基金を設け右金額よりする元金の支拂は千九百三十七年六月一日より開始す
五、元金は五十年以內に償還せらる

在華總領事會議

【上海廿七日發國通】外務省の意向傳達のため來滬した東亞局太田事務官を迎へての總領事會議は廿七日午前十一時三十分から大使館會議室で開催、若杉參事官、三浦漢口、中村廣東兩總領事、松村書記官(須磨南京總領事代理)吉岡、田宮兩書記官、淸水通譯官、福井、寺崎兩領事出席し主として華北經濟開發問題につき意見の交換を行つたが廿八九兩日も引續き開催の筈で會議の結果は廿九日午後歸任する川越大使に逐一報告されるが、時節柄頗る重大視されてゐる華北の經濟開發については豫ねて外陸海三省で種々考究を重ねられてゐたが今回同問題について出先の意向を聽取する爲外務省より太田事務官、陸軍省より影佐中佐、海軍省より中村中佐が夫々派遣され大使館では太田事務官の着滬を機會に在華各總領事が上海に集つて右問題を討議すると共に各種事務の打合せをなす事となつたものである

青島記者團決議

【青島廿七日發國通】成都事件に奮起した青島日本新聞通信記者團は本日緊急會議を開いた結果左の決議を爲して之を目下滯靑中の川越大使に提出し之が貫徹方を要請した

決議文

成都に於て中國民衆が我が同胞に加へたる暴虐なる行爲は國民政府が侮日政策を懷き居るを實證するものにしてその一反映に異ならず人道上また國際信義上斷じて許すべからず、帝國政府は速かに斷乎たる決意を以て今次の不祥事件に對應されんことを望む

右決議す

青島日本新聞通信記者團

英國、香港の
軍備擴充に努む

【香港廿七日發國通】香港英軍當局は極東權益確保の見地より昨年來要塞の增築、航空隊の擴充飛行場の增設防空施設の充實等を行ひ積極的防備强化に努りてゐるが、今回更に經費二千萬弗を投じ九龍に一大兵營を新設することゝなり、既に敷地の選定も終り近く着工の豫定であるが、右竣工と共に新たに陸兵二ケ聯隊乃至三ケ聯隊並に化學部隊を增置せしめ香港の軍備を一段强化せしめる計畫である

松岡總裁談
北滿視察出發延期

【大連國通】松岡滿鐵總裁は廿七日在連記者との定例會見席上左の如く語つた

北滿視察は少し延ばして九月十日前後出發する心算だ北滿の秋を知らないので今度は出來るだけ廣く佳木斯ハロンアルシャン等を見た上、ハルビンに數日間滯在する心算である、ハルビンは北滿產業開發の根據地となるべき重要な地で滿鐵としても理事の一人位交代制で駐在させたい位に思つて居る、制度改正は諸君が知つて居る通り大體原則を決定し、後は細目の內部的問題だけだ

總局人事異動 三千名を突破
審議近日中に終る

【奉天國通】在滿鐵道機構一元化に伴ひ新鐵道總局に包含せらるる鐵路總局、滿鐵々道部並に各鐵路局に亘る廣汎なる人事異動は廿四日以來引續き總局に於て人事會議を開催審議中であるが、愈よ兩三日中には大體一段落を告げ、滿鐵本社に回附、九月上旬頃には最後的決定を見るものと觀測される、今回り人事異動は新設される牡丹江鐵路局に配置される九百名を加へて異動總延人員は三千名を突破する豫定である

ル米大統領 平和會議提唱
紐育タイムス紙上で發表

【ニューヨーク廿六日發國通】ニューヨークタイムス紙は二十六日附紙上に

ルーズヴエルト大統領は若し再選されゝば一九三七年日、英、佛、獨、伊、支・ソ聯諸國最高代表者を網羅する世界平和會議の提唱方を考慮中である

と傳へ各方面に多大の衝動を與へた、それに依ればルーズヴエルト大統領は愈よ右世界平和會議の提唱を決定次第直ちに日、英、佛、獨、伊、支、ソ聯其他關係諸國の最高代表者に對して招請狀を發送する意向を有して居り尙ほ會議に對しては左の如き希望を持してゐると言はれる

一、平和會議に於ては軍縮問題を始め戰爭防止に關して各國の協力策を檢討する
一、經濟問題が往々にして戰爭の原因となるに鑑み各國に對しアメリカの互惠通商協定、關稅障壁低下政策に做はん事を勸奬する
一、假令會議が單なるゼスチユアーに終るとしても各國代表の意見交換だけでも戰爭防止に幾分なりとも效果ある事は明白である

平和會議と
各國の態度

【東京國通】ルーズヴエルト大統領の世界平和會議提唱說に對し各國は左の如き態度を持して居る

△フランス
ルーズヴエルト大統領の世界平和會議提唱は恐らく腹案の程度を出ぬものであらう、而して若し之が實現すれば極めて世界から好感を以て迎へられるだらう

△イギリス
政府方面では意見發表を差控へて居るが多大の興味と關心を有してゐる

△イタリー
此種の會議が果して成果を收め得るか否か疑問だ、イタリー政府は少數國の參加の下に嚴格に限定された具體的な問題を討議する會議のみが實際的效果を齎らすものと思惟する、ムッソリーニ首相はルーズヴエルト大統領提唱の下に世界平和會議が開かれるとしても出席せぬだらう

△國際聯盟
ルーズヴエルト大統領が世界平和會議提唱を決定するに至つたとの說はアメリカが世界的危機を前に國際協調を圖る事が最も必要な時期に達したと確信するに至つた證據だ

村井、ガレット
第一次會談

【東京國通】濠洲の要望により村井、ガレット第一次會談は廿八日開始される段取りとなつたが我方はあくまで濠洲側の具體案を迎へて徐ろに對策を進める筈であり二十八日の會談內容が到着するを待つて關係各省會議を開催し濠洲側提案の仔細を檢討し打開工作を進める豫定となつてゐる而して日濠會商前後の經緯に照し打開策の具體案は結局次の如きものに落着くべきものと見られてゐる

一、濠洲政府は今次通商交涉によつて體驗した處の日濠兩國の相互緊密な依存關係を自覺し日本商品の其の形式內容の如何を問はず差別的待遇に置くが如き措置を執るべきでない
一、斯くて輸入許可制度の撤回は當然の事であり日本商品に對する關稅は英國特惠關稅と一般關稅の中間率に於て定むべく良質廉價の日本商品の分布こそ一般國內消費者階級の生活維持安定に對する唯一の活路であつた事實に覺醒すべきだ
一、以上の要件に於て滿足なる協定に達するに於ては通商擁護法を潔く撤廢するに吝かならず、有無相通ずる日濠兩國の經濟依存關係の再確立に對し積極的協力を進めるの用意がある

人事往來

▲草場少將 二十八日午前九時奉天へ
▲于滿洲國侍從武官 同七時二十分吉林へ
▲李紹康氏(軍政部次長) 同八時五十分王爺廟より
▲王子右氏(軍政部參謀次長) 同八時五十分四平街へ
▲一島通陽子(貴族院議員) 二十八日午前吉林へ
▲谷貞一氏(關大講師) 同ハルビンへ
▲柿沼介氏(大連圖書館長) 同
▲石尾茂氏(滿鐵) 同大連へ
▲藤田敬二氏(鐵道省技師) 同內地へ
▲玉井又之亟氏(奉天高等法院次長) 同來京國都ホテル
▲太田政助氏(商業) 同
▲桑原利英氏(滿鐵) 二十七日午後大連へ
▲熊野保一氏(商業) 同
▲友國久吉氏(運輸業) 同ハルビンへ
▲山口忠三氏(鐵路總局) 同奉天へ
▲渡邊末吉氏(靜岡縣物產奉天斡旋所) 同ハルビンへ
▲太田六郎氏(靜岡縣商工課) 同
▲佐藤健三氏(滿洲石油會社) 同大連へ
▲由良龍太郎氏(鞍山不動產信託會社) 同國都ホテル
▲長井次郎氏(日滿鋼管會社) 同
▲宮川一郎氏(九大敎官) 同
▲宮內忠二氏(東京電氣) 同
▲石川隆吏氏(滿洲國官吏) 同大和新館
▲佐藤耕作氏(親和鑛業技師) 同國際ホテル
▲山下筐市氏(滿鐵) 同
▲芥川光彥氏(同) 同旭ホテル
▲奧野榮一氏(會社員) 同向陽ホテル
▲野田健吉氏(同) 同
▲廣瀨政孝氏(同) 同新京ホテル
▲橋本賴夫氏(同) 同
▲善岡宮治氏(官吏) 同
▲北川政夫氏(滿洲國官吏) 同滿蒙旅館
▲崎田善七氏(同) 同
▲吉田寅造氏(會社員) 同太陽ホテル
▲鈴木小兵次氏(滿鐵) 同都ホテル
▲平井鎭夫氏(同) 同
▲田中九一氏(同) 同
▲西山一穗氏(生命保險社員) 同
▲岡川榮藏氏(鐵路局員) 同大丸新館
▲藤田仙太郎氏(會社員) 同ヤマトホテル
▲山村永次郎氏(商業) 同
▲廣瀨美治氏(會社員) 同
▲坂戶毅氏(同) 同
▲田所耕輔氏(滿鐵) 同
▲田代名兵衛氏(會社員) 同
▲栖原豐太郎氏(旅順工大敎授) 同
▲相名進氏(會社員) 同
▲竹內俊雄氏(神奈川縣小學校長) 同富士屋旅館
▲福田正浩氏(同) 同
▲永井粂助氏(同) 同
▲皆川豐次氏(文敎部總務司長) 同奉天へ
▲山口武吉氏(會社員) 同大連へ
▲梅野實氏(同) 同奉天へ
▲大久間豐氏(同) 同市內へ
▲藤田八郎氏(判事) 同吉林へ
▲河內田藏氏(滿洲國官吏) 同奉天へ
▲矢中快輔氏(滿洲棉花) 同奉天へ
▲村山道雄氏(同) 同
▲山崎淸純氏(內閣調查局專門委員) 同奉天へ

團體

▲奉天高等法院團三十六名 二十八日午前七時三十五分奉天より
▲東京聯合少年團皇軍慰問團三十一名 同七時二十分吉林へ
▲大阪府立農學院團五十一名 同九時三十分公主嶺へ

その日〳〵

□ 重なる支那の抗日、侮日に三當局重要協議、拔くか寶刀問答無用で……

□ ル米大統領平和會議を提唱 "厄介な提案"と迷惑顏は歐洲各國から

□ 日濠會商再開、濠洲に敎ゆ 受取り勘定を計算に入れてからかゝること

□ 滿洲中銀第八期定時總會開催、この國に奉天票なるものが流通してゐたのである

□ 近ごろ輪禍しきり、躍進國都を標示するものにしては悼ましき事象

電業對鞍山戰に建國野球幕開く

球界の豪華明日から展開

各組合せ全部決定

全市ファン待望の滿洲野球聯盟、滿洲國體育聯盟共同主催第一回建國野球大會の組合せ會議は二十八日午前十時からヤマトホテル會議室において田中滿體主事、瀬川、藤戸新倶監督、水原主將、赤木選手（滿洲國）、杉谷選手（電業）其他關係者參集のもとに開催、抽籤の結果次の通り決定いよく明廿九日午後一時三十分から電業對鞍山軍の間に華々しく決戰の火蓋は切つて落される（括弧内は開始時間）

△二十九日
一、電業對鞍山（午後一時三十分）
二、大連實業對四平街（同四時）

△三十日
三、奉天滿倶對滿洲國（午前十一時）
四、新京對大連滿倶（午後一時三十分）
五、安東對（一）の勝者（同四時）

△三十一日
六、電々對（二）の勝者（午前十一時）
七、撫順對（三）の勝者（午後一時三十分）
八、ハルビン對（四）の勝者（同四時）

△九月一日
九、（五）の勝者對（六）の勝者（午後一時）
十、（七）の勝者對（八）の勝者（同一時三十分）

△二日
優勝戰（午後三時三十分）

各地チーム續々國都入り 宿舍もそれぐ決定

滿洲球史に不朽の金字塔をたてる可き第一回建國野球大會の榮ある代表十二チームは廿八日を期して一齊に新京に勢揃ひする、即ち全哈爾濱軍が午後一時五十分着あじあで一番乘りし向陽ホテルに投宿したのを皮切りに大連實業、鞍山軍が五時卅分あじあで着京續いて七時四十五分はとにて大連、撫順、奉天、安東の各滿倶軍が着京殿りを受けたまはつて四平街チームが十時四十分着京する、斯くして地元四チームと合し廿八日午前中既に決定せる組合せにより二十九日から五日間に亘り西公園原頭火を吐く熱戰大繪卷が展開される事となつた

宿舍割り

第一回建國野球大會出場チームの宿舍は次の通りである

大連實業―富士屋旅館
撫順滿倶―大丸新館
全哈爾濱―向陽ホテル
安東滿倶―都ホテル
奉天滿倶―新都旅館
大連滿倶―大和旅館
鞍山チーム―旭ホテル
四平街チーム―大平旅館

家出娘發見

市内朝日通りのおでん屋宮田春子さん長女山下愛子（一七）さん＝假名＝は十五日午後八時ごろ行衛不明となつたと新京署へ保護願ひを出したが其筋の手配で廿九日午前九時牡丹江で發見された旨入電があつた

トラックを避け損じ下敷

二十九日午前五時三十分ごろ新發屯興隆公司運轉手李鐘九（三一）がトラックを運轉し南關永安橋を通過吉林街道へ差かゝつた際通行中の大屯堡范集山（三〇）趙敬登（四一）の兩名をさけんとして過て自動車もろ共溝に陷ち趙はトラックの下敷になり胸部、腹部が眞二ッに裂け即死した

慰問の旅終へ東京少年團歸る

今朝驛頭日滿少年團お別れ

二十五日來京以來皇軍慰問、各機關見學、新京日本少年團滿洲國童子團と交驩などあはたゞしい日を送つてゐた東京聯合少年團在滿皇軍慰問團名譽團長三島通陽子爵、團長米本卯吉氏一行卅二名は國都につきぬ名殘を惜しみて二十八日午前七時二十分發京圖線列車で淸津經由裏日本を經て歸京の途についた、この朝新京少年團竹下主事以下健兒滿洲國童子團聯盟賀理事其他各幹部等早朝をついて驛前廣場に整列惜別の會が催され派遣團代表より

われくは昨年わざく來訪された貴童子團に對し答禮を兼ねて參りましたところ懇ろなる御歡待に預り一同に代り厚く御禮を申上げます、われくは東京に歸りまして滯京三日間に見聞したことをつぶさに團員に報告し今後とも益々日滿親善の實を擧げたいと思ひます、みなさんに於かれては何卒御健康で又再び日本を御尋ね下さるやう御待ち致しております

と懇ろなる謝辭を述べそれより驛フオームに向ひ發車を待つしばしの間新京日本少年團が寫した寫眞を分け與へるやら山手讀賣に載つてゐる本庄綾子さんの〝皇軍慰問の旅〟にあつと歡聲があがる、昨夜催された西公園の歡迎宴で日滿健兒が仲よくジンギスカン鍋をつゝいてゐる本紙に見入るなどつきせぬ交驩を惜しみつゝ七時二十分〝彌榮〟に送られて元氣よく歸京の途についた

ハルビン忠靈塔 近く除幕式

滿洲事變以來滿洲各地に轉戰斃き護國の鬼となつた幾多勇士の英靈を永久に讃へる爲め忠靈顯彰會では豫て各地に忠靈塔建設中であつたが一昨年秋四十萬圓の經費を以てその建設に着工したハルビン忠靈塔も此の程見事に出來上り郊外王兆塔の聖地に沖、横川兩志士の碑、小林、向後兩烈士の碑と隣接して朝な夕なにその聖容を輝かしてゐる、これが除幕式に就き二十七日山岡部隊本部に關係者參集、種々具體的協議の結果愈よ來る九月二十二、三兩日に亘り盛大に式典を擧行することゝなつた（寫眞）除幕式を待つ忠靈塔

街の口

電々創立記念運動會 恒例の電々會社創立記念運動會は九月一日午前九時から中銀グラウンドで賑々しく擧行される事となつた、一般市民の多數參觀を歡迎してゐる

取引所三十一、九月一日休場 新京取引所では來る三十一日は盂蘭會にて定期休場するがなほ九月一日は關東局始政三十周年記念日に當るので臨時休場

忌明寄附 富士町二丁目料亭泰東の樓主宅間勇讓氏は長男夫妻の忌明けに際し金五十圓宛國防費貧民救濟資金にそれぐ寄附した

あす（廿九日）

▲商業學校夏季休暇作品展
▲敷島高女夏季作品展第二日
▲西川中將一行出發 午後四時
▲岩井勝二郎教授講演會、午後二時、敷島高女
▲ライカ作品展、公會堂
▲通俗ラヂオ講習會第四日、午後一時―三時、放送局
▲支那古美術展覽會第一日、公會堂
▲建國野球大會第一日、一時半電業對鞍山、四時大連實業對四平街、西公園球場
▲ラグビー、財政部對商業、財政部グラウンド、午後二時
▲秋季第二次競馬第三日
▲映畫實演等の會第一日、十二時より公會堂

今晩の主なる演藝放送

▲六・三〇講演「二百十日を前にして」（東京）藤原咲平 ▲七・〇〇謠曲（東京）梅若六郎外 ▲七・四〇尺八獨奏「岩淸水」（大阪）小池玲山 ▲七・五〇物語「若きエルテルの悲み」（東京）御橋公

福岡市少年團元氣で着京

滿洲派遣部隊慰問並に童子團答禮及視察のため渡滿中の福岡市聯合少年團代表岩井一、原田莞哉、原巽三氏は二十八日午前六時二十四分着列車で來京した、驛頭出迎への新京日本少年團竹下主事以下健兒滿洲國童子團聯盟賀理事、地事社會主事高山八十八氏其他關係者と挨拶を交はし驛前廣場に到り童子團聯盟理事の歡迎の辭、代表岩井一氏の挨拶ありついで原巽氏より久世福岡聯合少年團長より滿洲國聯盟理事長張燕卿氏に宛てたメッセーヂを傳達した、代表原氏は語る

一行は八月十七日博多を出發下關から釜山に上陸し京城から圖們、牡丹江、哈爾濱、綏芬河を經て新京へ參りました、其の間各地駐屯部隊を慰問しましたが現地で見る皇軍の活躍には自然と頭が下りました、今日は關東軍を始め各機關を慰問して一泊、廿九日午後四時の列車で奉天に向ひます

滿洲國郵局で風景入スタンプ

各地それぐの特徴を意匠

旅行者のスタンプ熱が最近大いに昂まつてゐるが滿洲國側郵局でも國内主要地に於いて風景入スタンプを使用することゝなつた、これは郵政記念日の制定記念施設としてかねて意匠圖案を練つてゐたのであるが此の程圓形決定し來る九月一日から一齊に使用することゝなつた、使用方法及使用局名は左の通りである

一、使用方法

料金を完納したる書狀及郵便葉書（同一市内發着のものを除く）の引受に使用する、但し其の希望を以て郵局所窓口に差出したるものに限る

一分五厘以上の料金を完納したる郵便葉書並に記念の目的を以て一分五厘以上の郵便切手を貼附したる物件に對し消印の需に應ず

二、使用局名

新京 新京頭道溝 延吉 圖們 遼源 洮南 奉天 奉天城内 承德 安東 大石橋 營口 朝陽 赤峰 海拉爾 齊々哈爾 牡丹江 佳木斯 奉天郵局北陵分室 吉林 敦化 龍井村 琿春 洮安 王爺廟 錦縣 南綏中 鐵嶺 遼陽 興城 西安 淩源 哈爾濱 滿洲里 黒河 索倫郵局哈倫阿爾山分室 哈爾濱松浦

傷病兵轉地

ハルビン衛戍病院に入院中の傷病兵五十一名は廿八日午後三時四十分着列車で來京、内二十五名は午後四時發列車で公主嶺衛戍病院へ向ふが、其の他は新京衛戍病院に入院の筈である

漢詩會 一般の入會歡迎

國務院總務廳文書科に於ては建國以來詩人宰相鄭孝胥氏を盟主として行餘文社を組織し、主として日本人官吏に漢詩の作法を敎授し毎月課題を定めて添削を加へ詩稿を印刷して會員に頒布し各自の研究を進めて來たが、今回廣く漢詩の普及を圖るため一般よりも入會者を歡迎することゝなつた、希望の向は同社幹事たる同廳文書科渡邊忠之氏（電話二、一一八五）に申込まれたいと、なほ會費は不要である

朝鮮枝線不通

二十八日夜來の豪雨で朝鮮鐵道慶全南部線楡林亭―進永間は洛東江增水のため各個所が浸水崩壊列車の運行不能に陷つたので旅客、手荷物の取扱ひは中止となつたが急ぎの旅客は釜山馬山間の舟運を利用されるとよい、因に釜山出帆時刻は午前九時三十分午後一時、同七時三十分、馬山出帆は午前五時三十分、同六時三十分午後二時三十分の三往復で舟賃は八十錢である

婦人團體の九月祭取止め 大屯で全新京婦人の山遊び

九月下旬新京日滿婦人團體約一萬が集つて西公園内で「九月祭」を開催の件に關し新京婦人團體聯盟では二十七日午前十時から滿鐵綜合事務所で役員會を開きいろく相談の結果、本年は最早や準備の時日も少く且つ九月中の行事が非常に多いので取止めることゝし其の代りとして九月二十一日に大屯に於て全新京婦人團體山遊び大會を催し秋晴れの郊外でラヂオ體操、各團體の餘興等を催し終日歡喜に浸ることゝなつた、なほ明年からは新京行事の一つとして五月に「五月祭」を催すことに決定した

八百の匪團に遭遇 杉本大尉等死傷

濱縣東方伽板站東側で

廿六日濱縣東方約六邦里伽板站東側に於て市村部隊の一部と約八百の大匪團との遭遇戰に際し、我方の損害中目下判明せる者は左の如くである

戰死者 步兵大尉杉本勇吉
重傷者 田邊特務曹長

官名詐稱の僞官吏捕はる

二十八日午後三時ごろ新京署員が吉野町三丁目喜久屋旅館を臨檢すると二十六日から投宿中の原籍東京市生れ現住所奉天松島町六番地片倉俊六（三一）が係官に『俺は奉天省公署警務廳總務科長で家內は甘粕正彥大尉の妹なんだ何か調べごとでもあるのかね』とやり出しなほ續けて『自分は早稻田大學を卒へて松岡總裁の推薦で外務省巡査を拜命し大正十六年（本人がいつたこと）に滿洲國には入り警正となり累進して現在にいたつたのだ』と述べた、署員はキ印ではないかと本署に連行取調べると片倉は本物の奉天省公署警務廳總務科長星子敏雄氏と同郷の關係で事情に通じてゐるのを奇貨に總務科長の名を借りた僞物と判明なほ取調べ中である

朝鮮人酌婦前借踏倒し

三笠町三丁目朝鮮料理店日乃出方でさる十一日京城で抱へた酌婦錦蘭こと金處子（二一）サダ子こと金舞岳（二〇）兩名はそれぐ前借一千四十圓九百七十五圓を踏倒し新京に來る途中平壤驛に下車して逃走したと訴出

田中々銀總裁ハルビンへ

田中々銀總裁はハルビン中銀分行業務初視察の爲め廿八日午後五時四十分發「あじあ」で北行するが三十一日歸京の豫定である

高柳理事長 各機關に挨拶

滿洲弘報協會理事長高柳保太郞氏は廿七日午前中滿洲國に張國務總理、煕宮內府大臣、臧參議府議長始め各部大臣を訪問し、同協會開業の挨拶を述ぶるところあつた

農林技術員養成所修了式

南嶺農林技術員養成所で開催された第一回縣農會技術員講習會は豫定通り二十八日午前十時から實業部講堂にて終了式を擧行したが、講習生二十名に夫々修了證書を授與、松島農務司長の訓辭、岸林務司長の祝辭、講習生代表藤野氏の答辭あつて同十一時目出度閉式した

天氣と氣溫

明日の天氣 北寄の風晴一時曇
日の出 前四時五八分
日の入 後六時二一分
月の出 後四時一二分
月の入 前〇時四六分
けふの氣溫 最高 二七度 最低 一六度八

首都警察留置場漸く竣工

かねて大同廣場首都警察廳側に建設中の留置場は愈々竣工をつげたので近日四道街警察署の代用留置場から移轉の運びとなつたが、首都警察廳では二十九日午前十一時關係各方面を招待してモダンを誇る內部を參觀に供する事となつた

警務部異動

關東局では廿七日附を以て左の如く一部人事異動を發表した

大連署檢察官事務取扱 警部 藤本重一
南洋廳出向を命ず 關東局刑事課勤務 警部補 卜部義男
瓦房店署勤務を命ず 本溪湖署勤務 巡査 山岡佐一
任警部補 關東局刑事課勤務を命ず

江口間島省警務廳長赴任

間島省警務廳長に榮轉した前首都警察廳司法科長江口治氏は馬場新京憲兵隊長、中野總領事代理、金首都警察總監通同副總監等日滿警務關係者多數の見送りを受け廿八日午前七時廿分發列車にて赴任の途に就いた

大地の愛
前后篇

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞 朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水遠内之介

陸、海、外三相會議
對支强硬方針を決定
根本方策に就き隔意なき意見交換
軍部側斷乎たる態度披瀝

【東京國通】有田外相、寺内陸相及び永野海相は廿八日の閣議散會後首相官邸に居殘り午前十一時半より三相會議を開き有田外相より成都事件に關し取敢へず犯人の處罰損害賠償の要求等一應の外交的處置を執るが更に强硬なる態度に出づるかに就き閣議での報告を更に詳細に説明し、寺内、永野兩相より陸海軍側に達した情報と今後の對策に關する軍部側の斷乎たる態度を披瀝し對支外交一元化の原則により軍部は飽くまで外務省を支援して最も强硬なる態度を以て臨む旨述べ今後の根本方策に關して隔意なき意見の交換を遂げ、更に最近の滿ソ東部國境地方に於るソ聯軍の不法越境問題に就ても意見の交換を行ひ正午散會した

飽くまで責任を追求！

川越大使近く赴寧
張外交部長に嚴重交渉開始

【上海廿八日發國通】川越駐支大使は廿八日青島發の大連丸で廿九日上海着直ちに廿七日より開催中の總領事會議に出席して成都事件に對する詳細なる報告並に同事件に關する國民政府當局との非公式交渉經過を聽取するが大使は素より外務當局にありては事件の成行を極めて重視して此の種深刻なる排日事件續發の全面的解決を企圖して居り、殊に事件の善後處置に關して、國民政府の態度には責任回避の不快極まる術策も含まれて居る事とて川越大使は日支國交調整の外交々渉とは別個に專ら成都問題解決のために赴寧し張外交部長を相手に嚴重なる交渉を開始するものと見られて居る

あきれ果てた
天津大公報の愚論

【天津廿八日發國通】成都に於る邦人の遭難事件に關し本日朝の大公報は大要左の如き社説を掲げた

廿五日勃發した暴動は夜の五時より翌朝に及んだもので四人の日本人中二名の青年記者が殺害されたことは全國民の衷心より遺憾とするところで我等は同業者の立場より犧牲となつた前途有爲の兩氏に對し深く哀悼の意を表するものである、然し翻つて非常時の群衆心理を見るに教養ある人民でさへその常態を失ひ豫想外の暴行に出る事がある、その最も顯著なものは東京の大震災にして平素秩序を守る市民でさへ暴行をなし我が支那良民を襲撃加害した事實がある近年支那の群衆心理は之と同樣今や東北四省は奪はれ領土は刻々侵されんとする將に非常時といふべきである、日本國民はこの點を明察し本事件を正當に解決し東亜の和平を圖らん事を希望す

堂々たる論調であるが東京大震災當時のあるか無きかの問題を持出し成都事件を觀察する事の御都合主義を批評に對し一般から頗る非難されて居る

眞犯人と稱して
曖昧な人物を銃殺
背後關係湮滅のための奸策

【上海廿八日發國通】南京電によれば成都事件犯人二名が廿六日午後銃殺に處せられた旨を外交部は非公式に發表してゐる、而して右發表が眞實であるとすれば一見暴徒に對する斷乎たる處分の如く見えるも銃殺によつて今後の詳細なる眞相取調べを不可能にし事件の背後關係追及の責任を回避せんとの策であることは明白である、國民政府、四川省當局に於ては事件發生後四日を過ぎてゐるにも拘らず被殺害者渡邊、深川兩氏の死體すら日本側引渡して居らず行衞不明とのみ報告してゐる狀態でありながら、一方犯人に關しては日本側の調査を避けて逸早く銃殺に處すなど不誠意極まる奸策であり、殊に斯くては殺された所謂犯人二名が實の張本人であつたかどうか、或は全く街のルンペンを捕へて殺したものかさへ不明である、何れにせよ國民政府、四川省當局が故意に日本人官憲の成都入りを遲延させ一面自己に有利なる報道のみを爲し取調べを終らざる犯人を銃殺に處する如きは事件の正當なる解決を妨げるものとして國民政府の誠意は益々疑惑の眼を以て見られるに至つた

渡邊、深川兩氏 死体發見迄の經過

【上海廿八日發國通】支那側の消息によると死體發見までの經過左の如し

二十四日夜暴動の際遭難日本人中二名行衞不明となつたが、當時市内の秩序紊亂して死傷者多數を出した、二十五日朝に至り漸く或る路上に於て死體三箇を發見その内一名は公安局巡警であつたが、他の二名は身許不明のため蓁正學校内に一時收容、四川省外交特派員吳澤沙氏の到着を俟つてこの旨報告し二十七日朝重慶領事館警察署長、日本人醫師及び吳澤沙氏立會の下に檢死の結果二時間後に漸く日本人渡邊、深川兩氏なることが確認されるに至つたものである

"憤激に堪えず徹底的解決要望"
上海日本記者團抗議文發送

【上海廿八日發國通】成都で遭難した渡邊深川兩記者の所屬する上海の政治記者團體中江倶樂部では廿六日開催せる緊急總會の結果我が當局に對し斷乎たる態度を以て問題の徹底的解決を要望する決議をなすところあつたが更に本日川越大使を通じ國民政府外交部に向つて强硬な抗議文を發送した

△抗議文内容

本會會員渡邊洸三郎、深川經二兩氏は外二名の日本人と共に貴國々民に依り殺傷されたり、斯かる暴虐は吾人の憤激に堪えざるところなり然かも被害者は貴國政府發給の護照を有し貴國官憲により完全に保護さるべきに拘らず、斯くの如き事件の突發せるは貴國政府の重大なる失態なるは明かなりよつて玆に本會は貴外交部長の深甚なる注意を喚起し併せて徹底的解決を要望するものなり

昭和十一年八月二十六日
在上海日本新聞通信政治記者團中江倶樂部

▲決議

今回成都に於て本會員渡邊洸三郎、深川經二兩人は外二名の邦人と共に中國民衆により殺傷せられたり、斯かる暴虐は一點假借の餘地なし、當局は速かに重大決意を以て徹底的措置に出でん事を要望す

右決議す

昭和十一年八月廿六日
中江倶樂部

第三次滿蒙會議
滿洲里で開催決定す
九月廿五日 境界問題を討議

停頓中の滿洲里會議再開に就ては滿洲、外蒙兩國外交當局間に折衝中であつたが、愈よ九月二十五日第三次滿蒙會議を滿洲里に開く事に双方の意見一致を見た、右に就き外交部當局は語る

滿洲國と外蒙とは同胞的血族關係を有するのみならず約七百キロに亘つて境界を接する隣人たるに鑑み滿洲國政府は彼我の間に正常なる善隣關係を設定せん事を欲して終始努力して來た、昨年の滿洲里會議に於ては半ケ年に亘つて右目的の

達成 に努めたが不幸にして成果を收める事が出來なかつたのみならず昨年十二月から本年三月に亘り彼我兵力の衝突事件が頻發したのは周知の通りである

その間と雖も滿洲國政府は常に境界地方に於る紛爭の平和的處理及び防止の爲め有效適切な方策を講ぜん事を外蒙側に種々勸告し續けて居つたが、二月廿二日滿洲國政府より外蒙政府の意向開示を促したのに對し二月廿九日外蒙政府は混合委員會組織の用意ある旨回答し來つたので爾來右に關する協議を行ふ爲め彼我代表會議の會合地點及び討議等に就き彼我政府間に電報交渉を重ねこの

交渉 は三月中相當重大なる兵力衝突事件（タウラン事件の樣な）發生せるにも拘らず中絶する事なく繼續せられて來たものである

會議地に就ては滿洲國側は前回會議が滿領内に開かれたのに鑑み次回會議は外蒙領内サンベーズに開かん事を數回に亘り提議したが外蒙側は之を淡拒し續けて果しがないので我方は再び滿洲里に開催方提議し決定を見るに至つた

又討議範圍に就ては前回滿洲里會議に於る決裂を繰り返す事とならぬ樣會議前に能ふ限りの諒解を遂げて置く樣努めた結果次の滿洲里會議に於ては境界劃定委員會及境界紛爭處理委員會の設置等に關し

討議 する事となつた會議時期に就ては過般我方は八月廿五日よりの開催方提議して置いたが外蒙側は準備の都合上九月廿五日より開催方本廿八日着の電報を以て提議して來たので直ちに之に同意の旨返電を發した、會議に於る滿洲國側代表者は左の通り

興安北省々長 額爾欽邊圖
興安北省警備軍司令官 烏爾金
外交部政務司長 神吉正一
外交部囑託 菊竹稻穂

の四名で外蒙側代表は左の二名である

外務次長 サンブ・ルトオチル
イダム・スルム

廣西軍六萬梧州に集結
兩軍主力戰迫る

【廣東廿八日發國通】廣西軍は主力六萬を梧州に集結し西江の南北兩岸より封川、德慶、鬱南、羅定に向けて大擧進擊せんとする姿勢を取り蔣介石氏も亦同方面に中央軍六ケ師と廣東軍四ケ師を配し兩軍の前線は極度に接近し一觸即發の形勢にある

廿八日中に羅定を占領す
—廣西軍當局發表—

【廣東廿八日發國通】梧州方面の軍事狀況に就き廣西軍當局は本日左の如き談話を發表した

梧州方面から進擊した廣西軍は二十七日封川を占領し同時に西江南岸の羅定一帶に於ても二十七日來中央廣西兩軍間に激戰展開中で廣西軍は本日中に羅定を占領する筈

スターリン氏「戰爭迫る」と獅子吼

【ロンドン廿六日發國通】本日のイヴニングニュース紙はソ聯共産黨書記長スターリン氏が赤軍に對しラヂオを通じて「戰爭近し」と激勵演說を行ひウオシロフ、トハチエフスキー兩元帥も同樣演說を行つた旨報道し、獨ソ對立の尖銳化しつゝある折柄英國朝野に大センセーションを惹起してゐる、スターリン氏の演說内容として傳へられる處は次の如くである

戰爭は刻々迫りつゝある、諸君が期待しつゝあつた時期が到來したのだ、今や諸君の祖國は諸君に對して諸君が長年待望し來つた本分を盡す事を期待してゐる

右につきソ聯政府當局は英紙の報道は徹頭徹尾爲にする捏造であると言明した

滿鐵の大産業部は經濟國策に順應
滿洲國の純經濟的開發に進む

【大連國通】新設される滿鐵の産業部は地方部、農務、商工兩課、計畫部を中心に經濟調査會の大部分等を以て構成され北滿の産業開發を目的に調査研究立案の實行機關として其の活躍が期待されるが、松岡滿鐵總裁は北滿産業開發は飽くまで滿洲國政府の産業政策に背馳するを避け政府の經濟國策に協力之を助長すべき産業部の運用方針を堅持し滿洲國の統制に服しつゝ實質的開發を行はんとする意圖を明かにした、即ち滿鐵は其の經濟力に乘じて北滿の産業を獨占するものでなく政府の産業開發方針に隨行せんとする方針を採つたものであるが、一面の觀點から言へば、滿鐵の經濟的實力を政府の方針に合致せしめ樣と決意した事が從來の企業獨立傾向と非常な相違を示すところである、從つて産業部の運用も此の方針に基いて爲されるが、今後の北滿産業開發は大體農業、林業、畜産等の純經濟的事業に狹められて居るので産業部は既設國防的、基礎的事業の充實擴張問題とは切離し專ら純經濟的産業の開發にのみ運用されるものである

"帝國外交原則を大膽率直に遂行する"
＝重光新任駐ソ大使語る＝

【湯河原國通】湯河原で靜養中の重光葵氏は廿七日正式に駐ソ大使任命の發令があつたので、廿八日午前十時四十五分東京驛着列車にて歸京有田外相と會見、大使任命の官記傳達を受け對ソ政策に就き種々指示を受ける豫定であるが、上京を前に廿七日湯河原の別莊で新任の抱負を左の如く語つた

我國民としては對ソ國策は最も緊密な重要性を帶びる問題である、然も我大陸政策は對支、對ソ兩政策を根幹とするものであるから對ソ關係は國民生存の見地からも頗る注目を要する問題である、自分は對ソ外交の重要性を認め朝野各方面に對しその重要性を

宣傳 して來たが最近對ソ政策樹立の要が各方面から叫ばれて來たのは喜ばしい而して自分は對ソ國策は歷代外相の議會演說に明示されて居る如く常に確立されて居るものと信ずる、即ち有田外相が過般の議會で闡明した如くあくまで不脅威、不侵略の精神を國交の根本として行く事に變りはないがソ聯邦が極東に對し軍備を擴充する以上は日本も之に對抗する

軍備 の擴充をせざるを得ない外交的折衝による國境調停はしかる後に行はるべきものである、不侵略條約に關しては國内の一部では贊成意見もある樣だが、この見地からは果してこの意見が當を得たものか否かは疑問である、要するに對ソ政策は各方面の協議により一致した國策を如何に率直に大膽に實施するか否かに懸つて居る、從つて自分はソ聯側に對し言ひたいだけは何でも言つてしかる後に

解決 をつける心算である然し日ソ外交打開の要諦は日本國民がソ聯邦に對し關心を持ち研究をする事が第一である、先方に對する國民の認識が深まり東亞大陸に對する我國民の決意が充分つけば自ら解決の途が開けて來ると確信する

尙ほ同大使は外務省を始め陸海軍方面を訪問し對ソ政策について打合せを遂げたる後九月下旬頃渡滿し國境方面の情勢を視察の後十一月頃モスクワに赴任の豫定である

産金買上價格

＝財政部は八月二十八日産金買上法に基く産金買上價格を一瓦に付國幣三圓五角と決定した

人事往來

▲大藏公望男 二十八日午後五時四十分ハルビン
▲田中中銀總裁 同
▲高柳保太郎氏（滿洲弘報協會理事長）同八時大連へ
▲海原宏久氏（本溪湖煤鐵公司）同午後本溪湖へ
▲織田金吾氏（織田組社長）同大連へ
▲高橋孝一氏（大連汽船社員）同
▲永友繁雄氏（滿洲國立高農校長）同奉天へ
▲淵上秋次氏（滿洲國官吏）同
▲岩本軍男氏（營口商業銀行）同中央ホテル

航空往來

▲櫻井一德氏（會社員）二十八日午前依蘭へ
▲田中啓一郎氏（學生）同ハルビンへ
▲金子歲太郎氏（中銀總裁秘書）同
▲權藤實氏（步兵少佐）同
▲延澤氏（航空會社員）同奉天へ
▲秋丸主計正 午後同
▲田中參謀 同ハルビンへ
▲森屋俊郎氏（領事館員）同
▲一木旺次郎氏 吉林へ
▲森岡實氏（會社員）同ハルビンより
▲難波經一氏（專賣總署副署長）同奉天より
▲葉山忠次氏（航空會社員）同チチハルより

團體

▲安東滿俱野球チーム 廿八日午後二時來京 都ホテル

閑話

親子の間には親子の情、師弟の間には師弟の情といづれ劣らぬ愛情が湧き起らねばならぬものだ▲國都の學生を脅やかした不良が哈爾濱某中學校生徒であり▲然も年齡も未だ十四と十六でいづれも中學一年生であつたのには世人は驚いた▲新京署では取調べが一段落つくと早速身柄引受人を寄越すやう▲兩生徒の父兄と中學校長宛わざ／＼電話で通知すると▲一人の生徒の母親は取るものも取りあへず我が子の身を案じて飛んで來たが▲他の一人の方は兩親は勿論親類縁者さへも來る樣子はなく▲學校側としても敎へ子が二人まで警察に保護留置されてゐることを承知しながら▲而も再三再四警察から引取るやう催促されても校長はまだしも擔任敎諭さへ來る樣子がない▲不良の仲間入りをした生徒の罪もさることながら、さうした不良を生み出した環境により以上の非難さるべきものがあるべきだ▲家庭は嚴格過ぎてもいけない學校當局も生徒の教育に杜撰があつてはならない▲過つた道に踏み迷つた少年になぜ逸早く救ひの手が差しのばされないのか

社説

藍衣社とC・C團 排日の雰圍氣と組織行動體

一

最近數年來、支那に於いて反蔣要人の壓迫、暗殺暴行沙汰、排日反滿行爲等のある毎に必ずその裏に藍衣社が動いてゐた。政府要人は時にその存在を否定したが、昨年西南中央委員等は「社會を紊亂し黨國に危害を及ぼす藍衣社」を嚴重に懲戒する案を提出しやうとした事があつたのを見ても、否定は虚僞であつたことが知られる。藍衣社の發端は、民國二十年の四全大會に劉健群の提出した意見書にあるとすべきであらう。國民黨の組織が粗漫で紀律廢敗し命令空文に等しく工作敷衍に趨つてゐる、故に黨内に改めて嚴重なる組織を附與し、新生命及び新精神を吹き込まねばならぬとして、こゝに蔣介石氏を最高領袖とし、黃浦系を以つて中心機構に配した團結が生れたのであつた。

二

藍衣社の目的は、蔣介石獨裁政權の確立にある。對內的には反蔣派の結束を破り、蔣氏の武力統一を援けてその獨裁を實現せしめると同時に、蔣氏を中心とし政治に經濟に凡ゆる方面に領導權を獲得せんとするものである。その本質はフアッシストの如きもの國粹主義團體であり、國家資本主義の實現を期し、同社に於いて政權の集中と資本の集中を謀らうとするものなり、從つて對外的には絶對的に對抗排濟となり、特に日本に對しては絶對的に抗日の態度を取つてゐることが注意される。

三

藍衣社が黃埔軍官學校卒業生を中心とするのに對して、陳立夫、陳果夫その他中央政治學校卒業生を中心とするところのC・C團がある。これは國民黨員の立場に立ち、孫文の遺した三民主義、五權憲法及び一切の對外政策、對內政策を遵守することを原則としてゐる。彼等と排日を方針としてゐるが、その手段は多く文化宣傳の方面に現れ、その勢力は、中央の勢力の直接及ぶ省、市の黨部方面に於いて優勢である。

四

相異る特徴を有するこれら二つの團體は共產黨の掃蕩、反蔣派親日要人の逮捕暗殺等にあらゆる恐怖手段を用ひて立ち働いて來た。藍衣社の服務大綱に「非常時に處する愛國の意なき冷血漢、奸商、賣國奴の猖獗を防止するため殺害し民衆を畏怖恐驚せしむ」とあり「總て社長に於て被殺害者を指名し獎金を授け殺害す、被殺害者は貪官汚吏、奸商、反蔣者、裏切者」とある條節が實行されて來たのである。今日、支那に全面的に釀成されてゐる排日的雰圍氣の裏にはかかる組織的行動がある。かかる組織の解消せざる限り、日支國交の眞の調整は達成されないであらう。

太平洋會議總會

「極東に於る日本の特殊地位を認めよ」

米國代表痛論す

【ヨセミテ廿六日發國通】太平洋會議は二十六日午前總會を開催、太平洋に於る平和機構問題を議題に

討議

に入つた、劈頭米國代表ニューヨークタイムス論說記者ジエームス・マクドナルド氏はワシントン會議の失敗を指摘し極東に於る日本の特殊地位を認むべき事を主張して次の如く述べた

極東に戰爭が勃發すれば全世界で戰禍に投ぜられ人類史上未曾有の悲劇とならうワシントン會議が失敗に歸したのは發展しつつある極東の情勢を認識しなかつたからだ、極東に於る戰爭を防止し平和を確立するには次の三基本原則の確立が必要である

一、地理的情勢に基き極東に於る日本の特殊地位を承認する事

一、支那は自力によつて獨立を維持すべき事

一、日本は東洋に於ける各國既得權益を尊重すべき事

續いて蘭印代表バンモック氏は太平洋に於る平和確立の爲には關係各國間殊に日支兩國間の直接交渉を行ふと

同時

に國際聯合の下に國際會議を招集するのが至當であると述べた

中銀株主總會に於る

田中總裁演說(中)

金融界の情勢を觀まするに本期末に於ける國內普通銀行の總數は六十六行でありまして內、內國銀行四十三行、外國銀行二十三行であります、而して內國銀行は前期末に比し十五行を減少して居りますが之は內國普通銀行の整理進捗によるのであります。又金融合作社八十二社は前期末に比し增減はありまんが內容に於ては社員數、出資金、預金貸出共に著しき增加を示して居ります。更に全國主要都市に於ける內外各銀行の預金貸出の狀況に就て觀るに、預金は一月以降漸增して期末殘高は前年同期に比し約一割九分の增加を示して居ります。而して金圓預金は稍々減少の傾向に在りますが之に反し國幣預金の增加は著しく、其の期末殘高二億三千四百餘萬圓は前年同期に比し實に約五割四分の激增であります。貸出は一月以降幾分の增加に過ぎませんが內金圓貸出の期末殘高は前年同期に比し若干減少して居るに反し、國幣貸出は二割餘を增加して居ります。斯の如く國幣預金貸出の著しき增加を見ました所以のものは金票對國幣が等價に安定せることと國幣の一元化に進みつつあることとに因るものであります

×

斯る金融情勢に對し本行は昨年末の朝鮮銀行との業務協定の趣旨に基き、初期定期預金五厘乃至一分の利下を行ひましたが、其の後日本に於ける低金利情勢に鑑み人の經濟的不可分關係にある本邦も亦之に順應すべく、本行は五月十一日預金利子を一厘乃至三厘、貸出利子を一厘乃至二厘引下ぐることと致したのであります。一般市中銀行も漸次之に追隨して各地金利の平準化は着々實現されつつあるのであります。

×

次に物價の趨勢を觀まするに新京に於ける卸賣物價指數は三月の一〇一・七を最低とし、期末一〇四・七と漸騰の傾向を示しましたが、之は主として農產物價の一齊高に因由するものでありまして、中には砂糖、肉類、建築材料の如き稍低落の傾向を示せるものもあります。本期中の平均は一〇三・三でありまして前年の平均一〇二・六と大差なく概して平衡を保つて居るのであります

×

政府の財政狀態は引續き健全なる推移を示し、本年一月以降六月迄の本年度一般會計歲入は八千六百十四萬六千餘圓でありまして、之に前年度歲計剩餘金を加へますれば一億一千二百十萬二千餘圓に達し極めて順調なる成績を現はして居ります。又本期中に於ける政府公債は第三次北滿鐵路公債三千萬圓の發行及び欠善後公債八十五萬圓の追加發行がありましたが、建國公債四百萬圓の償還がありましたので結局本期末公債發行現在高は內債六千二百六十七萬五千二百五十圓、外債一億二千四百萬圓となつたのであります。本行の國庫金取扱事務も逐年繁忙を加へまして本期中に於ける政府預金の受拂總額は六億七千三百十七萬六千餘圓に上つて居ります。

×

次に通貨流通の狀況を觀まするに本行紙幣發行高の最高は一月中の二億六十五萬八千餘圓(鑄貨を含む)で創立以來の最高記錄を示し、最低は六月中の一億四千九百十八萬三千餘圓(鑄貨を含む)でありまして、之を前年同期の最高一億九千七十四萬八千餘圓最低一億三千八十六萬四千餘圓(鑄貨を含む)に比べますれば最高發行高に於て九百九十一萬餘圓、最低發行高に於て千八百三十一萬八千餘圓を孰れも增加して居ります。而して本期中の平均發行高は一億七千九百五十萬九千餘圓(鑄貨を含む)で前年同期に比し千六百二十一萬四千餘圓の增加を示して居ります。斯の如く發行高の增加を見るに至りましたのは農產物の增收並に市價の上騰と各種產業の發展に基く取引の增大とに伴ふ當然の現象でありまするが昨秋日滿兩國政府に依つて聲明されました日滿通貨の等價安定及び國幣の一元化が着々として實現されつつある一證左であることは申す迄もないのであります。

×

尙紙幣發行高に對する正貨準備の本期中に於ける最高額は五月中の一億八百三十萬三千餘圓、平均準備高は九千八百三十萬餘圓でありまして、之を前年同期に比べますれば最高額に於て二千五百四十八萬二千餘圓、平均額に於て三千十八萬三千餘圓の增加となり、其の準備率も本年五月中の七割三分七厘を最高とし平均準備率六割一分八厘を示し前年同期に比し最高に於て一割九分五厘、平均率に於て一割三分八厘の增加となつて居ります。

×

對外爲替相場は昨秋以來日滿通貨の等價安定を持續し對日爲替はパーを保つに至り、對英・對米爲替亦日英クロスの動きに追從致しまして概ね安定を見て居るのであります對上海は銀價變動及中國政情を映し幾分の騰落はありましたが、本期中每月の平均は九十七元乃至九十八元臺を保ち變動の範圍は極めて縮少されたのであります。

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

王道?樂道?

協和生

「公平なる市民」氏が二十五日の本欄「新聞社へ小言」の中で取り上げられた新京驛前車馬整理に關する御說に「協和生」は同感である。國都玄關の美化乃至交通の整理は元より結構且つ必要ではあるけれど一般市民生活の實情に則したもので無ければなるまい。

自動車が進步した交通機關として近年我が國都にも急激に增加したのは同慶に堪へない所ではあるが、それにも拘らず車馬は何と言つてもまだまだ一般市民に欠く可らざる所のものであることは恐らく誰でも之を認めざるを得ないであらう。この現狀に於ては驛頭に車馬が置かれてあつてこそ市民の利福に合致するものであつて、これが取りも直さず新京の僞はらざる姿である市民の便不便を顧ず美化と整理に急なるあまりに出でたとしか思はれぬ遣り方を見て孔雀の羽根を拾ふ鳥の智慧を思ひ浮べるのは獨立「協和生」のみではあるまい。

新興滿洲帝國を見に來る人に見せ度いものは五族協和の麗々たる王道樂土の實況であるが所もあらうに國都の表玄關で第一番に風を切つて走る自動車の優越感と車馬を求めて雜沓する民衆の姿を如實に見せ付けるのは、如何に心なき事であらう。これが口に優越感の除去を叫ぶもののするべきことだらうか、兎に角今の驛前廣場は一部特種階級の爲めの王道ではあるが庶民大衆が享有し得る樂道では斷じてないやうだ。

丁香盧漫筆(一五)

◎鬪牛(四)

牛のお代りは何匹でも居つて幾匹も殺すのであるが日本人が同じ型の角力を何十番見ても飽かぬやうに鬪牛手の優劣牛の荒れ具合等でそれぞれ變化があるらしく西班牙人も鬪牛にかけては飽くことを知らぬ、自分も我慢して三匹までは見たがそれ以上は如何しても我慢が出來ず歸つて了つた得た印象は此國にはフエヤプレーは無い、西班牙人は案外慘忍性を持つてる、これは國技では無く國辱である、强いて國技といふならば特に亡びんとする國の國技である…等々であつた、三匹の中の一匹は牛のうちでも至極順良な奴と見え如何に手創を負はされても少しも鬪志を出さぬ最後まで只ウロウロしながら慘殺されて了つた、實に見るに忍びぬ、不滿そうな面をしながら見入つてる周圍の西班牙人の頭を一々ぶん毆つて步き度いやうな氣がして成らなかつた。當時の事を思ひ浮べると今でも餘憤を禁じ得ない、知つたか振に『血と沙』の西班牙などロマンチックに書き立てる日本人は蓋し阿呆の骨頂であらう、西班牙に鬪牛が初つて以來何百年になるか知らぬが其間に慘殺された牛の數は何千萬にもなるであらうかいくら牛の亡靈だからといふて其儘果つる筈はない、余が昨今西班牙國內骨肉相食むの慘狀醜態を評して牛の亡靈に取憑かれてると言へるは此れが爲めである。

×

八年前の西班牙は何處を旅行しても極めて平和であつた、昨今新聞で屢々見るサンセバシチアン、ブルゴス、マドリッド、トレド、コルドウア、セヴイール、グラナダ、アリカンテ、ウアレンシア、バアセロナ等皆曾遊の地である、汽車の延着遲發には隨分惱まされた、此れは一時の伊太利以上であつた、こんな國はどうも成らぬとさへ憤慨したものである、日本なら神官でも冠りそうな黑塗の帽子を戴つてる巡公、鍔廣の帽子の若人、黑髮黑瞳の娘達など珍しかつた、確かマドリッドの王宮附近であつたらう步哨が騎馬で立ち(大方騎哨であらう)それが亦大きな步哨小屋に收まつてるのだから面白い、子供を連れて來て見せたら驚きもし狂喜もするだらうなどとも思ふた、何よりも興味を惹いたのは西班牙特有の建築であつた、昔濱田彌平が台灣で甲比丹の異人館に押入つて胸倉を掴んで嚇かした、といふあの繪にある異人館のやうな家屋が多かつた街を離れた胡同にでも這入ると支那其儘の氣分であつた、これは佛蘭西も伊太利も同樣であるが西班牙の胡同は更らに甚しく、怎うかすると支那へ來てるので無いかといふやうな氣持さへした、嚴めしい門の內には院子があり午下りになれば院子の庭に水を打たして晝寢でもするのであらう森閑として居つた。

×

到處目に着くのは其昔侵入して來たムーア人の遺したムーア文明の偉大なる痕跡であつた、歐洲まで攻入つた成吉斯汗がせめて此の千分の一だけの痕跡でも遺して呉れたらと感慨に耽けつたりした、滿洲國は勿論萬代不易である、然し萬代の後如何なる日本文明の痕跡を留むるであらうか少くとも遼金以上の。(終)

九月一日は公衆電話無料

創立三周年を記念の電々會社

電々會社では來る九月一日を以て創立滿三周年記念日を迎へる譯であるが、夙に日滿國策代行機關としての面目により文化の向上に、經濟の開發に、或は軍事的に至大の貢獻をなし、その業績も非常に良好であるが、更に來る十月には待望の二重放送が實現される事になり九月一日からは大連哈爾濱間、奉天哈爾濱間の直通通話も開始さるゝ豫定にあり、益々その使命に向つて邁進しつゝある、斯して九月一日の創立記念日を迎へた會社では、之が記念事業に就て協議中であつたがその內容は、電信、電話、放送に關する頗る興味深い懸賞問題を提供して廣く一般の應募を歡迎する事になつたのを初めとして、一方會社の業務に關しての電々ニュース映畫を作製し新京、奉天、大連、哈爾濱四大都市の常設館に九月一日を期して封切公開する、更に各管理局放送局等主要局所にその土地の風物を圖案化した記念スタンプを備えつけ、旅行者その他來局者のため自由に押捺に供する事になつたが、此のスタンプは郵便局のものと違ひ、切手を貼る必要もないので便利である、又當日全滿の公衆電話を一般に公開し無料でサービスする、尙滿人間に一層電話の普及を計ると共に、電話使用の智識を深める爲め全滿主要都市の著名百貨店、劇場の他に臨時に公衆電話を設置しこれも無料で公開する等々大規模の記念行事を實施することになつた

春畝公追頌會 故伊藤公銅像建立

【東京國通】明治の元勳伊藤博文公の遺德を慕ふ朝鮮の名士によつて組織されて居る春畝公追頌會の發起で公の銅像建設が計畫され、本山白雲氏の手で製作中であつたが愈よ完成したので來る十月廿六日新議事堂の隣地に建立盛大な除幕式を行ふ事になつた

庶民恩給兩金庫 合併

【東京國通】大藏省では劃期的な庶民金融機關として明年度から設立する庶民金庫と恩給局の計畫して居る恩給金庫とが同性質の機關であるので事務統制の見地から兩者を合併する事に省議の決定を見たので和田銀行局長は二十七日恩給局長に對し此旨交渉した、恩給局側では合併の結果庶民金庫金融の危險負擔は恩給擔保貸付利息が引上げられる事となるとの見解を持し分離設立か合併するも別途會計とする事を主張して居る尙ほ合併による金庫に對し大藏省では政府出資二千萬圓、事務費年額二百萬圓中政府負擔百萬圓となす方針である

國產燈油聯合會 結成さる

【東京發國通】石油業法の販賣割當數量過多と消費減退とのため久しく供給過剩に惱まされて居た我燈油界には豫てより販賣統制機關設立の議が進められて居たが二十七日國產燈油聯合會を結成、加盟各社間に正式調印を了した、之には日石、三菱、小倉、早山愛國の五社に協定準メムバーとしてライジングサンスタンダースの二社が參加して居る

右聯合會は、市場に於る燈油の販賣數量並に價格の自主的統制を目的とするものである此內地市場統制を機會に更に進んで豫てより懸案の對支輸出の統制をも引續き一氣に達成すべく目下各社間に準備が進められつゝあり、既に右燈油聯合會加盟各社を以て別個に輸出統制組合(輸出輸合法に準據せざるもの)を組織する事に大體意見の一致を見て居るが其の正式結成は目下我が關係當業者よりテキサス、ライジングサンの外油二社に對し申込みつゝある支那市場に於ける燈油販賣數量協定が近く成立するのを俟つて爲される筈である

協和會奉天 主事會議

【奉天國通】協和會奉天省本部では今回の機構改革に伴ふ根本方針に就き指示し將來の工作方針を樹立するため二十七、八兩日に亙り省本部管下の主事會議を開催する事となり廿七日午前九時より本部會議室に第一日の會議を開催、竹內總務廳長、三浦特務機關長始め關係者五十名、中央本部より半田企劃部長等出席、夫々指示並に報告するところあつた

商況欄(八月廿八日後場)

株式相場

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
鈔	[illegible]	[illegible]

銘柄	寄	引
東新	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
二新	[illegible]	[illegible]
日產新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
奉天	[illegible]	[illegible]

▲株式 寄(短期)引

銘柄	寄	引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日產新	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
五品	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
二甲	[illegible]	—
電拓	[illegible]	—
東興	[illegible]	—
滿毛	[illegible]	—
滿先	[illegible]	—
優磐	[illegible]	—

各地商品市況

▲横濱生糸

	寄	引	後
現物	—	—	—
當限	[illegible]	—	—
先限	[illegible]	—	—

手形交換高(廿八日)

	枚數	金額
金票	[illegible]	[illegible]
鈔票	—	—
國幣	[illegible]	[illegible]

鮮魚小賣相場(廿九日付)

品名	最高	最低
活鯛	一二〇	六六
氷鯛	四〇	二八
中タイ	八四	五四
連子鯛	…	…
チヌ鯛	四二	…
アマ鯛	…	…
イセエビ	八八	六〇
車エビ	一八〇	一七五
ブリ	…	…
ビラス	四二	三六
マナカツオ	…	…
黒鯛	…	…
マクロ	…	…
カツオ	…	…
サハラ	二三	一〇
赤ムツ	…	…
イワシ	…	…
ニベ	一六	一四
サバ	一六	一〇
アラ	一六	一三
メバル	…	…
ヒラメ	一八	九
コチ	一四	…
コノシロ	二一	…
ホボラ	…	…
キス	五八	四四
サヨリ	…	…
タ[illegible]	三六	三四
カレイ	…	…
小エビ	…	…
カ[illegible]	…	…
タ[illegible]	…	…
甲イカ	…	…
ン[illegible]	五四	四〇
タ[illegible]	…	…
貝柱	…	…
シジミ	…	九
ハマグリ	六	…
カナギ	…	…
ウナギ	…	…
ニベ同	二五	二三
ブリ	…	…
サハラ	四六	二五

進展する都市計畫（五）

都計と遊離したる綠化・淸掃運動

＝分派的一環として統制せよ＝

實質上の都市計畫が先行して、而もこれに適用すべき都市計畫法規の制定が伴はないために、幾多の不便不利を招きつゝあるのは關東州内における、大連都市計畫の場合を具さに觀察するならばおのづから明瞭である、區域が決定したといつても、それが告示されるでもなければ關係市民に周知せしめる何等の方法が講ぜられるのでもない、從つてそれによつて私權を拘束することなどは思ひもよらない

要するに都市計畫事業としての形式的にもまた實質的にも效力を發生し得ないものであつて、正式に都市計畫委員會の審議を經たものであるにも拘らず、それは技術者間の私案に過ぎないと見做されても仕方のないやうな狀態であるひとり區域ばかりではない、都市計畫法規の發布せられざる限り、今後決定すべき道路網も、地域制も、地區の制度も同樣の結果に終るほかはない。

しかも一方には市役所や州廳が主動的立場に立つて、市街地の綠化運動や、街路の淸掃運動が盛には行はれつゝあるが、これには本來都市計畫運動を本源とする、その分派的一環として、不可分にして有機的關係を保ちつゝ行はれることによつてはじめて舫が立ちかつ效果的な進行を得て目的を達成するものであつて都市計畫に對する何等の觀念も理解もない市當局や市民が都市計畫と遊離したる綠化運動や街路淸掃に狂奔してもそれは徒らたゞ彌縫的手段たるに終つて、根本的綜合なる目的に協ふ所以にあらず、所期の目的を達成することは困難である。

要するにこれらも、速かに都市計畫法規を制定公布して實質的都市計畫並びに事業の結果に法的效力を與へ、よつてもつて市民生活の眞つたゞ中へ、都市計畫の觀念を強力に打ち込んで、十分に注意を喚起し理解を要請するの方途に出でないために、そうした都市の發展膨脹を整調し合理化する上の操作と事業が、統制連絡を欠如しバラ〳〵狀態に陥るわけである

元來都市計畫並びにその事業の着手と進行が、ひとへに法規に依據してなさるるにおいて、はじめて效果的であり有意義であるわけであつて、滿洲國の都邑計畫法が昨年十月民政部土木司において起草され愼重審議の結果去る五月二十六日の總務司長會議を通過し、いよ〳〵國務院會議へ上程の運びとなつたから近く公布せらるる見透しがついたと傳へられるのは、現に勃然として起つてをる全滿の都邑計畫事業を統制し、その向ふところを誤らしめざるとともに、あらゆる都市計畫上の施設に法的效力を與へ、その進行に便すること多大なるものがあるであらう（水口生）

高粱繁茂期に入り各地の匪賊跳梁

＝目覺しき日滿軍の勳績＝

【ハルビン國通】山岡部隊各地討匪陣に凱歌相次ぐ折柄最近討伐狀況に關し本部隊に左の如く入電があつた

一、永田部隊は八月十八日濱縣盤道嶺附近に於て四海匪二十名を急襲、根據地を覆滅した

一、川崎部隊は廿三日珠河縣孫初把頭に於て海交匪約四十名を潰走せしめた この戰鬪で上等兵笹原政五郎氏（福井縣）は名譽の戰死を遂げた

一、松居部隊は廿四日木蘭縣廣利屯に於て匪賊三十名と遭遇し交戰潰走せしめ小銃彈藥多數を鹵獲した

空陸相呼應して八百の匪團掃蕩

山岡本部隊廿八日午前八時着報によれば廿六日夕刻以來濱縣駐屯市村部隊の一部は伽板站（濱縣東方約六里）の東側に於て約八百の匪賊の大集團に遭遇俄に數十倍の匪團の重圍に陥り乍も獅子奮迅の勇を以て之と交戰中なりしが廿七日午後三時卅分頃ハルビンよりの下枝部隊の增援隊到着と共に之を東方に擊退目下濱方正道に沿ひ東方に退却せるその主力を急追中である、此の戰鬪に於て我方の損害は戰死十七、負傷七の模樣であるが未だ詳細判明するに至らず、尚右戰鬪にはハルビン加藤飛行〇隊も應援して廿七日午前八時半最初の出動を始めとして、午後三時卅分過ぎ四回に亘つて出動し空中より機關銃の猛射を浴せ友軍を援けて眼覺しい活躍を示した

滿軍威力發揮

北滿各地の掃匪工作に日本軍と協力し果敢なる戰鬪を續けてゐる滿洲國軍最近の潑剌たる討伐狀況左の如し

一、步兵第〇〇團は八月二十日午後八時頃寶淸縣城西南方附近で平延線、金作の合流匪百七十と交戰し匪團を潰走せしめたが此の戰鬪に匪首金作を殪したほか馬一小銃三、彈藥三十七を鹵獲した

尚同部隊は引續き八月廿五日午前四時頃寶淸縣城北方廿支里の地點に於て天德、順天の合流匪百と交戰擊滅したが此の戰鬪で木原中尉は左胸部に盲銃創を負つた

一、步兵第〇〇團（赫中校指揮）は八月十六日富錦縣興向陽溝附近掃討中洪林匪首と交戰これを潰走せしめた敵の遺棄死體六、負傷多數

匪首古來友銃殺

【チチハル國通】曾ての龍江省內匪賊の巨頭古來友（三五）は廿六日午後十一時當地北門外臨時刑場に於て銃殺せられた、同人は大同二年八月十三日治安工作より歸任途上の中川龍江縣參事官を嫩江々上に襲擊同氏を射殺したるもので去る一月龍江縣警務局の手に擧げられ、第三軍法處に於て死刑の判決あつたものである

長勝・南俠の合流匪擊退

【奉天國通】國部部隊發表＝廿五日午前五時昌圖縣第六區三岡廟西北方廿四キロ附近に於て長勝、南俠の合流匪七、八十蟠居中なりとの報に接した實力錦駐屯山本〇隊は直ちに同地を出發、同日午後九時頃李家溝に於て該匪を發見、これに夜襲を加へたが、匪團は夜陰に乘じて逃走、山本〇隊は更に匪團を追擊中廿六日午前五時蔡平房に於て再び該匪團を發見、之に大打擊を與へて擊退したが右戰鬪に於て步兵上等兵日野仁太郎氏は名譽の戰死を遂げ警察隊は戰死一、負傷一を出した、敵の遺棄死體八

東局好を逮捕

【奉天國通】康德元年以來人質事門に各地を荒し廻つた暴虐なる匪首東局好事柳成文（二七）が最近武器彈藥入手のため奉天に潜入せるを探知した瀋陽警察廳では鋭意搜査の步を進めて居たが、此の程同人が市外皇姑屯の隱家に潜伏、暗躍中を知り廿六日午前二時寢込みを襲ひ逮捕した

壺盧島第二期工事明年より着手

大連、營口に比肩する大築港

【奉天國通】南滿並に熱河、興安各省一帶の物資の呑吐港として將來の發展を豫想されてゐる壺盧島築港擴充第一期工事は既に完成、現在二千噸級船舶を出入せしめ得る事となり本月中に羅津より繫留用小型汽艇を壺盧島へ廻航配備する運びとなつた、同港は將來撫順炭と併稱さるべき阜新炭の輸出港として目下滿鐵本社內に設置された壺盧島築港委員會に於て大連、羅津、營口等に比肩すべき大築港計畫を立案中で明年解氷期より五ヶ年計畫を以て一ヶ年三、四百萬噸呑吐を目標に築港工事に着手の豫定であるが滿鐵、總局並に滿洲國政府間で協議の結果年二月より正式に滿洲國開港場に指定するに決定した

大連驛工事進む

【大連國通】大連驛新築工事は第一期工事を完了し、驛前廣場の整理に就ては過般來豆タク其の他の立退きで問題を起したが之も漸く解決し愈よ整理に着手する事となつた、同豫定地にある大連都市交通會社の車庫は近く日本橋積の元大連驛敷地豫定地に移轉する事に決定、既に官有地の拂下げを受けたが、同會社では同處に三階建百數十臺のバスを收容する堂々たる車庫を新築する豫定である

支那回教徒から「不逞檄文配布」

【奉天國通】瀋陽警察廳では今回支那回教徒代表より奉天の同教徒宛て來る十一月中旬南京に於て憲法制定、大統領選擧のため全國民代表大會が開催されるにつき貴地教徒から代表を參加せしめられたい旨の檄文を郵送し來つたことを探知直ちに之を押收したがこの種檄文は全滿各地に相當配附された形跡あり、同廳では各方面と連絡嚴重調査の方針である

泰安丸匪襲を受く

【ハルビン國通】廿六日午前一時四十分乘客一千名を滿載した泰安丸が巴彥江下流の烏河港に碇泊したところ同部落東端に潜伏待機中の系統不明の匪團より突如猛烈な一齊射擊を受けた、警乘員は直ちに船員と乘客を船底に避難せしめて應戰したが、匪彈は船體に多數命中し二等船室及び食堂ガラスを破壞した、幸に人命に異常なく同船は午後零時二十分無事ハルビンに歸航したが、匪襲を受けた烏河港部落は猛火炎々と立上り同部落全部を燒却した模樣である

鎭安橋竣工

【安東國通】安東鎭安橋は此程愈よ工事完了し、廿七日呂民政部大臣他三百餘名の來賓出席の下に盛大に竣工式が擧行され引續き祝賀會を行つた

最終端境期に入り特產在荷量減少

【ハルビン國通】北滿經濟調査、八月中旬各線主要地在荷數量は、大豆一九〇六瓲小麥一〇七二九〇瓲で前旬に比し大豆は約六割、小麥は一割減となつて居り、最終端境期に至つた大豆小麥共在荷量は著しく僅少となつた、線別に示せば次の通りである

（單位瓲）

	大豆	小麥
濱北線	三四五	八三・九四八
（松花江筋）	八〇五	七・一九〇
京濱線	一三五	九一五
拉濱線	三〇	六
濱綏線	二六八	一・〇六七
圖寧線	一	二九七
濱洲線	一七	三・八四九
齊北線	四一五	四・一七
合計	一九〇六	一〇七・二九〇

新總督迎へ近く知事會議開催

【京城支局】總督、總監の着任を迎へた總督府では不言實行沈默の統治をモットーとする南政治のスタートを切る事になつたが九月十日頃から各道知事會議を三日間位の會期で招集し各道知事に新統治方策を授けた後更に十四、五日頃より中樞院會議續いて司法官會議を開催する事に計畫されて居りこれら會議の連續開催により庶政一新の端緒は開かれる豫定である

滿洲の原野に自生する藥草（三）

◇……今が絶好の採取季節

七、ハンゲ（半夏）

原植物　天南星科に屬し、原野又は畑等に自生し又栽培する、半夏（カフスビシヤリ）の根（塊莖）を藥用に供する

異名　日本に於ては種々の異名が地方によつて稱されてゐるが、東京邊ではミヅダマといつてゐる、漢藥半夏の異名は和姑（クロコ）地文、（ジブン）、水玉（スイギヨク）守田（ジユテン）等

形態　多年生草本であつて高さ七八寸に達する、葉は複葉であつて三箇の小葉より成り葉柄に肉芽を生ずる花は單性であつて肉穗花序をなし雌花は其の下部にあり、雄花は上部にある、花序は大形の佛焰によつて包まれ花軸の上部は線狀に伸長して苞外に突出してゐる藥用に供する地下の根莖は球圓形の塊根であつて大さ三五分許りである、外部は灰白色、內部は雪白色であつて緻密な粉狀を呈してゐる、誤つて其の新鮮な根を食すれば舌唇腫 すといはれる、初夏の候根を採集して乾燥するものは味が緩和される

滿洲に於る產地　日本內地では圃圃、河川、墓地、湖沼等に自生するが滿洲國では關東州金州和尙山等

應用　鎭嘔　痰藥として外咽喉の腫張と疼痛を散し音聲を出すに用ふる、用量は一回一、五－四、〇グラム、牛夏の鎭嘔作用があるのはコカイン修酸セリウムに代用する事が出來るといはれてゐる

即ち牛夏煎（一五、〇）瓦を三〇〇、〇瓦と生薑（各科別二〇、〇瓦は二日量であつて一日三回に分服し二日六－八瓦を用ふる、又は足の豆、草鞋の喰ひ込んだ時に牛夏の粉末を飯粒でねつて貼布すれば效能がある

八、イヌザンセウ　崖椒（ガイセウ）

原植物　香料に屬し山野に自生する崖椒（イヌザンセウ）の果實及葉を藥用にす

異名　野山と稱せられてゐる

形態　高さ五、六尺の落葉灌木であつて葉は七双乃至九・双であつて山椒の葉に類似してゐるが、小葉は稍々細長く且つ粗らに附着し細かい小鋸齒を有してゐる羽狀複葉である夏に淺綠色を呈する小さい花を開き山椒に似た小さい球果を結ぶ、熟すれば暗褐色になり一種の惡臭がある

大體花及果實も山椒に類似してゐるが、惡臭を發する點が異つてゐる

滿洲に於ける產地　本植物は花椒（タウサンシヨウ）山椒（サンシヨウ）と共に去底混同して花椒の名のもとに培養せられて居る其の嫩芽及果實を食用に供する

應用　果實は鎭咳劑として內服し、外用には乳房の腫痛に貼布する、即ち果實を粉碎して酢を以て煉り乳房の腫れた場合に貼用すれば疼痛を去る效能がある、又打撲傷、リウマチス等に用ひて效がある、葉は粉末となし消炎劑として打撲傷に外用する、又根を取つて煎じて痔にアン法をするに使用する

九、イヌホホヅキ　龍葵（リウキ）

原植物　茄科に屬し山野に自生する龍葵（イヌホホヅキ）の莖葉を藥用とす

異名　野茄子、和名（ヤマトホホヅキ）「ウシホホヅキ」等と通稱せられ漢藥では天茄子の異名がある

形態　一年生草木であつて高さ二、三尺葉は互生し卵形であつて多くは全邊である花は小形白色で散形に排列し花冠は合瓣花冠であつて五裂し整齊である、果實は球形の漿果であつて初め綠色熟すれば紫黑色に變じて南天の實の大きさ位になる誤つて食すれば昏睡又は搐搦を來して遂に生命を奪はれるに至る恐るべき有毒植物である、雜草中に混在してゐるのでその果實を子供は喜んでまゝごと遊びに使つてゐるが危險な事である

滿洲に於る產地　旅順、大連鐵嶺等

應用　解熱、利尿劑であつて睡眠を防ぐに效があるといはれてゐる、又莖、葉の煎汁を外用して頭癬を治するに效あり、子實は眼疾、腫を治癒する

十、イヌメヅナ

原植物　十字科に屬し、原野や路傍に自生する（イヌナヅナ）の種子を藥用に用ふる

異名　藥用に供せるれたを大薺（ダイテキ）、大室（タイシツ）、蕈（ブンコウ）丁歷（テイレキ）、狗薺（クセイ）等と稱せられてゐる

形態　二年生草木であつて高さ七八寸に達し葉及び莖に細毛を有してゐる、花は黃色小形であつて總狀花序に排列してゐる、果實は扁圓形を爲し綠色を呈してゐて短角である、熟すれば開裂して種子を飛散する、其種子は扁平であつて小圓形をなし罌粟（ケシ）に類似し外面黃褐色をなし味微に辛い

滿洲に於る產地　大連附近に產する

應用　利尿劑として水腫に用ふる、又咳嗽及び呼吸困難にも效能がある、一回の用量は一、五乃至三グラム位服用する　（未完）

家庭

腹部の劇痛には
早期診斷が必要
盲腸炎に御注意！

疾風迅來の如く、卒然襲い來る病氣にも數々あるが卒中や狹心症の或場合のやうに、その間何の施すすべもなく急死するものは已むを得ぬとして、多少たりとも其處に余裕があれば、猶豫なく最善の處置をなし、斷じて手遲れの悔を殘してはならぬ

急性虫様突起炎(盲腸炎)はその好き例である。その重症は一二晝夜は愚か、數時間にて既に腐敗破壞し、致命的の急性腹膜炎を起す。しかし、如何に急劇な場合でも、起るとすぐ死ぬといふことはなく發病から危險に陷るまでには假令短くともそこに若干の暇がある。この間に致命の危險から遁れるための手段が施されるのである。この好機を無爲に過した場合は即ち

手後

れとなる。然らばこの機を捉へて何をするか、腐敗破壞の完成に先立ちて虫様突起を除くにある。これを早期虫様突起切除術と云ふ。

斯くてたゞ迫る危機を脱するのみならず、後療法は僅か十日にて足り、而も再發なき永久の治療を得るのである。本症の總てが斯く扱はるれば、世に虫様突起炎の死は一人もない筈であるが、何方に向つても、五分十分の所に然るべき治療所のある都會においてすらも今尚本病に斃れるものが稀でないことは誠に遺憾である。重症急性虫様突起炎は概ね劇しい腹痛に始まる。その痛みは胃部胸部等にあり、又全腹部に訴へる、右下腹部の壓痛も要徵である。惡心嘔吐のあるものは惡い。惡寒高熱あるもの及び脈博の頻發するものは

重いと觀てよいが、體温や脈博は一定時過ぎてから影響を受けることが多いからいつも早期診斷の便とする譯には行かぬ。勿論腹痛の全部が本症でないことはいふまでもないが、本病が非常に多い病であるといふことゝ、俄然起る劇しい腹痛は急性虫様突起炎か然らざるも即刻手術を必要とする種類の病症が大部分を占めてゐるといふことゝを牢記すべきである。

趣味の栽培！

蘭の清楚な秋模様
咲誇る白花と芳香

秋雨に幽玄な芳香を漂はせる秋蘭今咲いてゐる蘭は春咲く春蘭に對し秋蘭と云つて殆ど全部が白花といつてよい蘭道でいふ素心だ、これには種類からいふと三十種もあるが古來秋蘭の名品は白雲素心大青素心、觀音素心、十六羅漢といつたところだ、したがつてこの邊になると一條何圓といふ相場だ、蘭商にもよるが何十圓と吹つかけるものがある、原産地は支那でそれも南である、直接それらの原産地から内地へ輸入されるものもあるし、一度台灣に移植してから内地へは入つてくるものもある、内地産の秋蘭といふのはない、駿河蘭を秋蘭とするものもあるが、開花期は眞夏である。大體秋蘭は八月下旬から九月一杯が花の節で、普通五、六輪から七、八輪をつける蘭は花の芳香とともに清楚高雅な葉の姿が、愛好される、この葉には、廣葉と細葉とあるが、廣葉によい品種が多い、みどりも廣葉の方が濃い、そこにまた何ともいへぬ氣品が見出されるゝ、蘭を培養するには底に木炭や鉢の破片を一寸ぐらゐの厚さに敷き、その上に赤土の五分玉のかたまりを入れ上になるにつれて段々と細かいものにて、これに黑土のかたまりを入れると一層よ

（季）

お××煉白粉の化××粧××の使ひ方×××栞

煉白粉は買つたまゝで使つてゐると固まつて、使ひ難くなつてまだ澤山あるのに捨てゝしまはねばなりませんから、使ふ度に氣をつけて、水なり化粧水なりを含ませておきますと、固まりませんから最後迄使へて無駄になりません。

◇……秋宵靜調（内地便り）

い、何よりも排水のよいといふことが條件だ、水は一日に一回ぐらゐ與へ、この頃なら午前中だけ、日光にあてる、直射日光が過ぎると葉灼けを起すからだ、多は一日あててよい、出來れば多はフレームに入れる、しかしこの場合ガラスに接近させてはならない肥料は骨粉をつまんで隅々におく、生石炭でもよい、時期は六、七月に二、三回とし、以後はごく薄い肥を二、三回やる、（水）その外の手當として は貝殼虫の驅除が大切で多から春へかけて多眠中を竹箆でそぎ取つて殺す、花を持つのは株が五、六本以上になつてからだが、小さい鉢で根部の方を日光にあてるとよく張りつめて花芽をもつて來る

ラヂオ

けふの番組（M・T・C・Y 新京放送局）廿九日（土曜日）

◇朝◇

- 六・〇〇 建國體操
- 六・二〇 ラヂオ體操（東京）
- 六・四〇 中等滿洲語講座（大連）講師 秋父固太郎
- 七・〇〇 中等日語講座（奉天）講師 近藤喜助
- 七・二〇 氣象通報（大連）
- 引續き 朝の音樂（大連）
- 八・三〇 經濟市況（東京）
- 九・〇〇 早晨演奏（奉天）
- 九・二〇 料理獻立（大連）
- 九・四〇 經濟市況
- 一〇・〇〇 家庭講座（大連）熱帶魚の話 小山純一
- 一〇・二五 家庭メモ（大連）
- 一〇・三五 經濟市況（東京）
- 一〇・四〇 經濟市況（東京）
- 一〇・五九 時報（東京）
- 一一・四〇 ニュース（東京、新京）

◇晝◇

- 〇・〇一 經濟市況（大連、新京）
- 〇・二〇 晝の演藝（レコード）
- 一・〇〇 建國體操
- 一・四〇 白天演藝（奉天）新滿洲歌曲 奉天放送局新滿洲歌曲團 一、西江月 外三曲
- 一・二〇 ニュース（滿語）
- 一・三〇 野球試合實況 =新京西公園野球場より中繼=
- 五・二五 建國記念大滿洲帝國野球大會（雨天順延）
- 二・〇〇 經濟市況（大連）
- 二・五〇 經濟市況（東京）
- 三・〇〇 ニュース（東京、新京）
- 引續き 競馬實況（滿語）—新京賽馬場より中繼—
- 五・二五 氣象通報、番組豫告

◇夜◇

- 六・〇〇 ニュース（東京）
- 六・二〇 今晩の番組、官廳公示
- 六・二五 政府公報（滿語）
- 六・三〇 子供と家庭の夕（大阪）
  - 一 唱歌 大和撫子 西條八十作詞 佐々木俊作曲 外二曲 伴奏 大阪放送合唱團 大阪ラヂオオーケストラ
  - 二、物語 水楊のほとり 吉田絃二郎作 村瀬幸子
  - 三、ヴァイオリン獨奏と獨唱 (イ)ヴァイオリン獨奏 遠藤麿里子 ピアノ伴奏 清木嘉雄 協奏曲 イ短調 ヴィヴァルディ作曲 第一樂章 アレグロ 第二樂章 プレント (ロ)獨唱 木村美佐子 ピアノ伴奏 永井八重子 お山の細道 葛原しげる作詞 小松耕輔作曲 外二曲
  - 四、ラヂオドラマ 蓬萊 永田衡吉作
  - 五、演出 胡蝶座 豐岡佐一郎 管絃樂 古典輕音樂 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 内田元 (イ)ガボット フランソワ・フランク作曲 (ロ)アリア バッハ作曲 (ハ)メヌエット ハイドン作曲
- 八・〇〇 時事解説
- 八・三〇 時報、ニュース（東京）
- 八・四五 ニュース
- 引續き ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
- 九・〇〇 舊劇 洪羊洞（奉天）奉天放送局國劇研究部
- 一〇・〇〇 北滿の時間（哈爾濱）

◎備考 野球なき場合は左を追加す

- 一・三〇 成人講座（哈爾濱）我的人生觀 警察廳屬官 何之滙
- 一・五〇 下午演奏
- 二・〇〇 日用品値段（滿語）
- 四・三〇 ニュース・演藝（鮮語）
- 四・五〇 ニュース（英語）
- 五・〇〇 子供の時間（東京）
- 五・二〇 コドモの新聞（大連）

二科の審査始まる

美術の魁として九月一日から二科展が開かれる事となつたが第一回審査が二十四日府美術館に於て開かれた（寫眞は審査場）

夏物のお洗濯は成可く家庭で
斯うすれば安全便利です

夏のうちに着たうす物も絹地のごく上等ものは自家で洗ひますと目寄がしたりいろいろな故障が出て來て、かへつて生地をいためる事となるので控へた方が安全ですが、麻や俗にいふ絹麻などですと同じ

薄物 でも家庭での洗濯が比較的自由で失敗するやうなことはまづありません。洗ひかたは生地の色にもよりますが、白つぽいものでしたら、盃に一杯ばかりの洗濯ソーダを熱い湯でとかし、これをとけたときぬるま湯に入れその中へ十分乃至二十分間ばかりつけておき上等の石鹸を使つて襟、袖口の順でブラシで洗ひ、其他はつかみ洗ひとし、濯ぎは盥一杯に水を張つて品物を泳がせるやうに石鹸水のとれるまで濯ぎます。一方色の出さうな物は冷水中に食鹽を一と掴り入れるか或は

食酢 を盥三分の一の水に對し茶飲み茶碗に半分ほど入れた中で前と同様によく濯いでそのまゝ竹の衣紋掛けにかけ、手で大體の形を取つて日蔭干しとし乾燥したところで霧を吹き茣蓙の間に入れて押し、もう一度衣紋掛けに通して濕氣を乾燥します。

文藝

酒と不眠症

大浦郁

赤西蠣太氏ではないが、呑み過ぎの胃弱から、センブリばかり呑んで居る昨今の私である。

「もう當分呑まずに置かう」と口にも言ひ心にも思ひ決めては居ても、遠來の客があつたり、肉身の者が旅へ發つたり、詰らぬことで仲介役に引出されたりしてみると偖てどうにも呑まずには居られず杯に手を出すのであるが、さうなるとまた年來の悪い癖でついく徹底してしまふ。

呑んで居る時だけは胸の燒けるのもケロリとするし、不快にもたれた胃腑の加減も急にサラリとしてしまふ上に感情がひどく純粹になつて行くのがたまらなく嬉しいのとそれとも一つは、學生時代からつき纏つて居る執拗な不眠症が、酒を呑んだ夜に限つて私を解放して呉れるので、酒は中々に捨て難く、呑まずには居られないのである。

だが次の朝、頭が混沌として、ヅキく痛んだり、ゲーッと吐氣を催したりして、一日中どうにも不愉快でたまらず、そんな時私は發作的に全く手のつけられない自棄のヤンぱちな氣持になるのが常だ。

自分のやつて居る仕事の詰らなさや、こけおどしばかりで固めあげた世間のからくりや、そんなものにまで無性矢鱈に腹がたつて來て自分ながらこれは少しおかしくなるのではなからうかと心配される程、救はれ難い心の情態に置かれてしまふ。

そしてゐぎたなく座敷の眞ン中にヒツくり返り、思ひ出したやうに讀みたいと思つて以前からしまつてあつた小六ツかしい書物を抽き出して來て、イラくと頁をめくつてみるのである。

これは、絶えず何かしら讀まねばならぬといふ意慾が、心の何處かに潜在して居て、體が極端に不健康な狀態に置かれた場合にその意識だけが正常を失つた心の弱い部分を突き破つて度外れた強烈な勢ひを以て表面に出て來るせいなのかも知れない。

然し活字の上に眼を据えては居ても、私の濁り霞んだ頭には、その活字の上に誤まつて二度映したフイルムのやうに、色々な想念の映像が、二重若しくは三重に掩ひ被さつて映つて來て、一字の意味すらも頭に這入らないまゝにバタリと本をほり出してしまふ。

そして強て眼をとぢ、このまゝ暫らく假寢しやうとあせるのだが。

そうなると今度は却つて神經が鋭く光つてしまひ、色んな妄想が次々に去來してもう金輪際眠れつこない。

このイラくしい狀態が夜半まで、ときとしては寢室の窓がクリーム色に明るくなる頃までもつゞいて、私の不眠症は更に輪をかけて烈どくなるらしい。

◇ペンネームに就て◇

花戸章といふペンネームなどは凡そ世の中でこれ位ひ胸糞の惡い代物はないと私は考へてゐる。

薄ツぺらで、オツチヨコチヨイで江戸川亂歩のイミテイシヨンで全く鼻持ちがならない。

と言つたところで、私が何も奥行きがあつて、重厚で見上げた人物であると言ひたいわけでは毛頭ないが、兎に角このペンネームだけは只今限り撤回させて貰ふ。

と御大層らしく申上げても別に私が此のペンネームで以て空前絶後的神品お度々世に問ふものでもない限り、こんなさゝやかな私事を仰山らしく騒ぐ必要もないのであるが私を知つて居る人々―手近かで言へば日日に據つて居る一聯の文藝人である山口、懸橋和波君達の思惑に對してもう恥かしい氣がするので敢て大仰に申出る次第である

土臺が花戸章といふペンネームは、私がまだ內地の新聞に居た頃社內同人で、當時流行のモダニムズにかぶれちまつて、いかゞはしい短篇小説の載せ合ひつこをやつた、その節ひねくりまわしてこさへあげたのが皮肉の神樣バーナード・ショー翁をもじるところの花戸章であつたといふ次第である。

それも最初は鈴鳴章としけ鈴はベルだから、スルナルシヨウとなる。然しこいつはどうも少し註釋を加へなければ解り兼ねるぞと同人連中が面白がるので、それでは舌足らずて恐縮だが花戸章でまけとけと言つたやうなわけで喰付いたのである。

そんなざれごとで捻りあげたペンネームが、どうしたわけか、多分私の無精さから來て居るのだらうが十年近くも今日に及んで居る。

「花戸章か、なアる程バアナアド・ショーをもじつたね」と私と交渉を持つた文藝人の誰もがそんな風に言つてニヤリとしたものだ。

そのニヤリの內には單純なものに對する常識的な侮蔑の色が一瞬翳つて通り過ぎるのを常に私は感じて居たのだがそんなことにはひどくこだはるたちの私が、どうしたわけか何時もそのまゝ忘れてしまつた形であつた。

「なに、君にはうつてつけのペンネームだよだからさ…」

なんて言はれても、兎もあれ花戸章だけは是非とも勘辨して戴きたく思ふ(八、十)

幻想曲　一幕

石川良滋

(三)

作曲家　逐々追ひ出されるか。出るとしても行く當はなしと。こうなるとこの陋屋でも未練が殘るなあ。ア、アア俺の作曲さへ出來てゐたら……。あなた、(男の方を向いて)どうにかなりませんかね。

男　エ?あすこの「月はかすみて…」のとこですか

作曲家　イヤ、樂譜の方はもう頼まんが、十五圓どうにか都合出來ませんかねえ。

男　(驚いて)エ?十五圓?ふざけちや困りますよ。私もこれで懐中無一文なんですからね。

作曲家　サア、そこを是非何とかして貰へませんか。此處へお出でになつたのも何かの御緣ですからね。キツとお返ししますから、どうとかして下さいませんか。

男　……ふざけちやいけませんよ。

妻　……本當にお願ひ出來ないでせうか。

男　(ヂツと考へてゐたが、思ひ切つた樣に)ヒヨンな事を云つて驚いちやいけませんよ。實は私はぬすつとなんですよ。

二人　エ?泥棒?(呆れて暫くは物が云へず、呆然と男の顔を見つめる。)

作曲家　御冗談でせう。驚かしちや困りますよ。

男　イヤ、本當です。本當にぬすつとです。(と自信有り氣に云ふ。)

妻　(急に怯けづいて)あんた、貴郎。(とそつと夫の袖を引張る。)

男　イヤ、驚いちや困りますよ。然しまだ何處にも這入つた譯ぢやない。今夜初めてぬすつとしようかと思つて此處に來ただけなんですがね。だからまだ處女泥棒なんですよ。ぬすつと根生になつたのはさもしいがそこんとこを諒として堪忍して下さい。

作曲家　そうでしたか。それはまあよかつた。つまり未遂犯といふ譯ですな。

男　そうそう。

作曲家　貴方、もう泥棒なんかおやめなさい。今やめたら罪は免除して上げますよ。

男　有難う。私もそう思つてます。今夜は本當に考へさせられました。こんなに貧しくしてゐて旦那方の仲のよい事には感心しました。羨しい程です。實は私の家も大部貧しい。嬶アが病氣で寢てゐやがる。大した事もないんですが。私も呑まず食はずで面倒を見てやるんだが、どうしてもいけねえ。この嬶アといふ奴が大した代物でして、私も相當の學校を出たには出たが、女給上りのこのあばずれとくつついたのがいけなかつた。こいつが病氣してゐる癖に何でもかでも欲しがりやつて遂々無一文になつた。その上、こいつが今度は人樣の物を盜つて來いと奨めやがる。私もそれだけは出來ぬとすつたもんだの喧嘩をしたんだが。終ひにはとうくく泣き出しやがるんで、惡い事とは知りながらやましい心を起してのさばり出て來たんですが、世の中は矢つ張りまゝにならぬもの。旦那の家に這入つて見ると、私の家より余ッ程ひどい。こんなひどい家に這入つた私は汗顔の至りでさあ。ねえ、旦那。私の嬶アと比べるとあんたの奥さんは雲泥の差だ。可愛がつてやんなきやいけませんぜ。

妻　(恥かしそうに)まあ!

作曲家　(別に大した感動もないらしく)そうかねえ。一緒に居ると、別にそうも感じませんがねえ。

男　イヤ、本當ですよ。奥さんも偉いが旦那も又偉い。藝術家なんてものはどうしてこんなに人が好いのに貧乏してゐるんだらうなあ。天の無情を嘲つてですよ

作曲家　あんまり人が好すぎるからでせう。(と笑ふ)

男　ア、今夜はあんた方のお蔭で實際助かりました。私はもう斷然泥棒なんかやめます。あんた方に感謝します。

作曲家　そうでしたか。それはよつた。私達も胸がすつとしました。

妻　本當によかつたわねえ!

官場現形記 (142)

李寶嘉 作
大內隆雄 譯

‖第十二回の十‖

大きな碗や小さな碗が一齊に出揃つた。みんなの傍に女がゐる。主人にほか五、六人各人の側に女がゐる勘所をつくつてゐるわけである。順番を定め、玉仙が琵琶を取つて「先帝爺」の一節を唱つた。文は自分で太鼓をたたいた。玉仙が唱ひ終ると、陶仙が續いて小調を唱つた。唱ひながら、趙に色眼を使つてゐるのである。趙は思はずその方を振り向いた。それをみんなが見付けて一齊に喝采した。文は、趙君に飯代を持たせていいと喧しくいふ。趙は自分の持つてゐる金が酒ぐらゐは買へるが、飲代には足りぬと考へ、頑固に承知しなかつた。陶仙は彼に、酒を買はせることを無理强ひに承諾させた。文は趙がまだ何とかしやうとするのを知り、急いで飯の用意をさせた。

食事を濟ましてから、あとを片付けさせ、黄と王の二人は船を變へて阿片をはじめやうとした。趙が放さない。

「私酒を用意しますよ、お二方、顔を立てさせて下さいよ」と言ふ。黄、王の二人は方が無く、この船で阿片をやることにした。

江山船上の規則では、上等の食事の用意に八元取り、便飯は六元、酒を出すのは四元といふ事になつてゐた。趙不了は金入れの中には三元と小洋錢が八枚それに銅貨が十何枚あるだけであつた。機會を見て彼は同僚の王仲循から小洋三枚を借り、合せて十一枚になつたのでそれを文のボーイに頼み大洋に換へた。

錢を交換し、席の用意は出來た。趙は主席に坐り大いに好い氣持である。黄、王の二人はやはり女を呼ばない。周はやつぱり招弟を呼んだ。招弟は年齢僅か十一歳である、船に乘る時、船の持主の女房が周に言つたのだつた。

「旦那樣よろしく御ひゐきに願ひますよ」

それで周は自分で計畫を立て引續き彼女を呼んだのであつた。文は言ふまでもない、自分の所の玉仙に、統領の船の二人、あはせて三人であつた。

文が食卓を設けた、時統領大人はちやうど船で寢てゐると聽いたのであつた、それで彼は敢へてその船の女を呼んで來たのだつた。その際、統領が眼を醒ましたら、報せてくれと頼んで置いたのである姉妹二人のうちどちらかを大人の所にやつて伺候させねば大人とても寂寞たらざるを得まいと考へたのであつた。ところが統領たるや、三時間も眠つてやつと眼を醒ましたのであつた。こちらでは文は二つのテーブルを續けさまにやつて、いつの間にか大いに醉つてゐた。統領の船の男が來て

「大人はもうお目覺めになりましたよ、姉妹のうちどちらか一人をやりませう」

と言つたのだつたが、文は頑固に放さうとしないのである

この統領の船の招牌主は姉妹であつて、姉は龍珠と言ひ現在十八歳、作は鳳珠と言つて十六歳であつた。姉の方は羞花の貌あり、眞に有數の女沈魚落雁の容あり、妹は閉月たちであつた、やつて來る役人たちは常に彼女らのゐる船を指定したものであつた。(つゞく)

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△海(八月號) 中河與一「萬葉集と瀨戸內海」明るい肯定的な積極的な短歌に強靱に盛られた民族性を回顧してゐる、堀口九萬一「ブラジル生活の早取寫眞」仁科原嚴徹「夏の滿洲閑話」石一男「最近の高雄」小島修三「新京・吉林哈爾濱」等それぞれに各地の趣きを語る(大阪市北區宗是町一、大阪商船株式會社、二十錢)

△白疆(第十三號) 照顔樓古道「長井雅樂と久阪玄瑞」横地信果「滿人が語る日系官吏の話」等を掲載(新京東三馬路、白疆會本部)

△滿洲評論(八月二十二日號)はやくもこの週刊も五周年記念號を時評に「經制新立」「滿洲國上半期對外貿易好轉す」の二編がある、論文新田邦雄氏の「日本大陸政策に於る滿鐵の歷史的地位」は十三頁に亘り、轉換期に立つ滿鐵についてその大陸政策擔當者としての任務を歷史的に檢討し將來の展望を試みたもの「萬能の主であつた滿洲に於ける過去の地位は、新たなる狀勢の進展によつて變化しなければならなかつた、保育行政を含めて政治的なものの大部分を滿洲國に委ねて、軍指導下に、自らは滿洲經濟の基本線たる一萬粁の鐵路と採炭製鐵機構の確保擴充の經濟的分野へ、この經濟的開發の主柱たる基礎を保持しつゝ全經濟建設の實質的指導へ、かくして滿洲に於ける過剩エネルギーを擧げて新天地支那へ」以上が動向であるとし「狹隘なる營利主義にもとづく消極的な機會主義から脫却し、盲目的な利權獲得的オポチユニズムから解放された」產業部の活動を期待してゐる空庵生「松岡顧問の風呂敷」張景「一九三六年度第一四半期の中國經濟」二」等(大連市山縣通一八、滿洲評論社、十五錢)

△モナミ(九月號) 海野夢一作「川柳母を讀ふ」荒木武雄「標題のない雜感」の次に東條優里子「過ぎゆくもの」福田眞須美「恥辱」の二篇を讀むとやはり若過ぎることが感ぜられる、作の稚さには好感を持つにしてもまだ頭拔けたものを待ち望む氣持は殘る、曾つて「文學案內」などが社會の生產面を描けと叫だんことなどが對蹠的に思ひ出されるのである、指導の側に立つ人々にもつと用意が必要であらう、それが無いならばいつまで經つても同じ水準のものを續けて行かざるを得まいと思ふのである(東京市京橋區銀座五ノ三、千草書房、三十五錢)

△文部時報(七月廿一日號) 篠原助市「義務教育年限延長の教育的考察」小泉親彥「國策遂行に關し人的民力の現狀に就て」大西永次郎「國民體位の向上と義務教育の年限延長」ほか八篇の論稿を以つて義務教育年限延長問題特輯としてゐる、篠原氏が「我々教育者はこゝに聲を大にし、義務教育年限の延長が國家百年の大計であるこの認識を普く一般に呼びさまさねばならぬ國民教育の內容及び方法の根本的改善の如きは年限の延長に於て始めて期待し得られる」と述べてゐるのはその代表的なものであらうなほ一九三四年各國に於ける義務教育年限についての調査が紹介されて居り方部省關係の法令、彙報等の諸記事がある(東京市京橋區銀座西七丁目一、帝國地方行政學會二十錢)

金言

加藤清正曰く
思ひ付いたことは明日に延ばすな

暑さに弱る胃腸が是を飲んで逆に丈夫になると食事が進んで身體も肥る

夏 暑くなると誰も胃腸が弛み、消化液の分泌が衰へて、食物がモタレたり、下痢やシボリ腹になり易く、舌苔や口中の粘り て食慾が減退し、消化が惡くて榮養が缺乏し加ふるに夏は、太陽の紫外光線が强いために他の季節よりも

餘 計に體力が消耗されるから、平生健康な人でも、夏は腦力が減退し根氣が乏しくなり、頭がボンヤリ、疲勞倦怠し易く、居眠りが出たり、身體はダルクて、少し動いても息切れなどして何をするのも大儀て、暑さに

抵 抗する體力がないために、夏マケ、夏ヤセになり、ゲツソリ心身の衰弱を招ねくが、殊に體質虛弱の人、病後の人、産前産後の婦人などは、暑中の養生が最も大切てあるが、深山仙酒とて貴ばるゝ滋養强壯劑の養命酒を朝晩少しづゝ養生に愛飲すると

胃 腸が丈夫になり身體の爲に、是程よいものはないと誰方も感心して口々の眞實な好評て益々有名てありますから、直ぐ成程と御體驗になり、今年の夏は酷暑も平氣て人から『お元氣てすネ』と云はるゝ程、無病壯健て元氣よく愉快に御活動下さい。

夏痩で弱る身體が

本年は却つて肥り丈夫です

東京府下　野本たゑ子

私は身體が弱いと云ふ程でもありませんが、胃腸は餘り丈夫でない爲か、毎年夏になると食慾が減じ身體が倦怠くてグッタリして了ますので、何か良いものはないかと色々試しましたが、効果のあるものは見當りませんでした。本年も六月の始めに夏を案じて居りました處、フト或誌上で養命酒を知り早速買求めて朝夕一杯づゝ飲んで居りますと、食慾が進み出し何を頂いても迚も美味しく胃腸の工合がよくなり、夏になつても身體が倦怠いといふ事もなく却て肥つて迚も丈夫で過ごしました、十一月の今日になつても足袋も穿ずに寒さも平氣で勤めて居りますのも、全く養命酒のお蔭と存じ深く感謝しお友達に奬めて居ります。(十年十一月七日受付寫眞は御本人)

小瓶進呈

貴 重なる深山仙酒にして芳香美味で迚もうまくて飲みよい事を紹介する爲、養命酒試飲用小瓶一本を無代で送呈しますから東京澁谷區上通四丁目十一番地養命酒本舖出張所へ宛てハガキを御出しあれ。

新京商店員のサービスを改善
講習會員にマークを制定
店頭の實績を驗す

新京輸入組合ではかねてから毎月十五日店員講習會を開催組合加盟店の店員をして隨意聽講させ常識の發達、サービスの向上等に努めてゐるが、その講習の結果を更に各自の店頭でよりよく發揮せしめると共に店員の自覺を促す意味を持つて、今回マークを製作講習店員につけさせることゝなつた、制定せられたマークは現在の輸入組合マークの兩側に算盤珠を配しその中に店訓の二字を入れた七寶燒であるが、七月中加盟店間に懸賞募集を行つた結果東一條通玉屋ふとん店野中康次君が見事一等を獲得したものである、これによつて講習會の實績も如實に表はれ各店のサービスに對する態度も事實上見られ得ることゝなるので兎角サービス問題が云々される滿洲商店界もかなり改善せられる可く期待を受けてゐる

竹田宮殿下
南嶺戰蹟を御見學

御滯京中の竹田宮恒德王殿下には廿八日午後一時三十分御假泊所御出發御附武官安藤少佐、憲兵隊本部馬場隊長、金首都警察廳總監等御隨行申上げ初秋の氣澄む南嶺の戰蹟御見學にむかはせられ一時五十分南嶺御着練兵場内二ヶ所に於て米山部隊飯塚少佐より當時の戰況を御說明申上ぐれば殿下には終始御熱心に御耳を傾けさせられ御感慨殊に深き御樣子に拜された、かくて故倉本少佐其他戰歿將兵の靈を懇ろに御弔ひ遊ばされ午後二時五十分南嶺御發三時十分御機嫌麗はしく御假泊所に御歸還遊ばされた

×　×　×　×

京釜線杜絕
ひかり、のぞみともに立往生

二十八日午後朝鮮鐵道局より新京驛への入電に依れば二十七日夜來朝鮮地方一帶に亙り未曾有の豪雨あり、慶全支線における列車不通は夕刊既報の通りであるがその被害は更に日滿間を繫ぐ大動脈京釜本線にも及び黃澗—秋風嶺、大邱—拔川、院洞—勿林前の間は路盤崩壞、被害甚大なところから徒歩連絡きかずこゝに內地への連絡運行は全く杜絕するに至つた、この事故の爲內地との連絡列車たる二十八日午前七時新京發『ひかり』および同午後十一時奉天發『のぞみ』は京城にて立往生となり、同午後九時新京着北行一列車『ひかり』は安東を約三十分遲發したが其後とり戾して漸く定時に到着した、黃潤—秋風嶺間は應急修理の結果二十八日午後七時開通を見たが他は復舊見込み立たずよつて現在のところ內地方面行旅客は大連經由による外ない

颱風荒れ狂ふ
交通通信に事故續出

【京城國通】憂へられた颱風は遂に朝鮮海峽に進出し朝鮮中部以南は二十六日來又復豪雨に見舞はれ各河川氾濫し交通は杜絕、電信電話の不通續出したが二十七日午後十時總督府警務局着電によれば慶尙南道では最高二百三十七粍の豪雨で慶全南部線進永驛附近では線路七十米流失し、馬山、晉州間トンネルは崩潰し列車不通となり山崩れの爲め死者六名を出した、慶尙北道迎日郡東海面にも山崩れの爲め十名生埋めとなり死體六個を發掘した、颱風は漸次朝鮮に接近しつゝあり豪雨今尙ほ止まず南朝鮮沿岸では二十七日夕刻頃より益々猛烈な暴風雨となり關釜連絡船は遂に缺航した

グライダー引航機
搭乘者二名慘死

【大阪國通】大阪府中河內郡盾津村大阪陸軍飛行場で開催中の大每並に日本帆走飛行聯盟共同主催グライダー講習會第三日目の廿七日午後三時卅七分大每廿八號機を國粹義勇飛行隊小林實氏（二四）が操縱大每航空部東京駐在太多和齋氏（二五）が同乘し濱松グライダー俱樂部谷口米一氏搭乘のグライダー大每第廿九號ゲッピンゲン一型を曳航して約一キロ東北の同村字加納の水田上空でグライダーを繫ぐ百米のロープを切離した際突如飛行機は假逆樣に墜落、太多和小林兩氏は慘死を遂げた

關東遞信局始政三十年記念ポスター

關東局始政三十年

九月一日より全滿各郵便局所で

郵便切手　繪葉書の賣捌

記念スタンプ　九月一日ヨリ四日

郵便局

實業協會總會に
內地實業界の期待大

日滿實業協會第四會總會に對する內地實業界の期待は誠に大なるものあり、對滿投資熱も滿洲の現狀に對する再認識により漸く旺盛ならんとしつゝある折柄、總會第二日に於ける各分科懇談會席上の質疑事項はかなり廣範圍かつ細目に亙り提出されるものと豫想され得るので、實業協會滿洲支部では各專門家に依囑してその解答に萬全を期し質問者に滿足を與ふる可く二十七日約七十通の依賴狀を各方面に發した、なほ此の外關東軍、滿洲國政府關係方面からも約三十名出席す可く、財政、金融、交通、通信、移民等各分科懇談會の收穫は期して待つ可きものがある

建國記念野球大會
けふ正午開戰
第一回戰は電業對鞍山チーム

紺碧の空、灼熱の大地、秘技を盡し秘策を練る一球一打にグラウンドを疾驅するナインの影、全滿野球ファンの神經を此處一點に集注させ、國都を野球色一色に塗りつぶし暫し感激と興奮の坩堝に捲き込む第一回建國記念野球大會は愈よ二十九日正午から西公園球場に於て全滿、關東州の精銳十二チームの間に爭覇の幕が切つて落される事となつた

定刻出場選手一同は匂ふばかりのユニーホーム姿勇ましく二十八日の抽籤順により電業鞍山軍を先頭に甘利委員の先達でセンター中央から奏樂裡に進行グラウンド正面に整列すれば、古海委員長立つて開會の辭を述べ、次いで各チームの主將により國歌吹奏と共に日滿兩國旗を揭揚、終つて阮會長、大達總務廳長、河本滿鐵理事の訓辭、祝辭あり再び奏樂裡に選手退場して此處に意義ある開會式を終了すれば大會第一戰をうけたまはつて電業、鞍山兩チームが登場阮文教部大臣投手、捕手河本理事、打者星野財政部次長と言ふ劃期的始球式が擧行されて熱戰力鬪が忽ち展開される事となつた

白菊町プール納會
▽……あす午後一時から擧行

滿鐵白菊町水泳プール納會は三十日午後一時から擧行されるが當日のプログラムは興味本位に左の如く決定した
▲二十米男女背泳（兒童）▲二十米一般男女競泳▲五十米男女胸泳▲二十米男子背泳▲十米潛水競泳▲二十米スプーンレース▲林檎取り▲飛込競技▲西瓜取り▲ダイビング▲黑ん坊大會

長春會開催
來月二日八千代館で

新京で長春であつた時代に住んでゐた人々が時々集まつて舊交をあたゝめやうといふ目的の長春會は回を重ねる每に出席者が殖え懷舊談に花を咲かせるが今度は來月二日午後六時から八千代館で開會に決定した尙前回までの出席者の方へは往復葉書で通知してあるが萬一通知洩れ或は未入會者の出席希望ならびに知人に心當りがあれば誘合せて出席されたくその場合は豫め新京日日電話三、三八八〇番十河まで申込み會費は金六圓を當日持參となつてゐる

八大都市對抗庭球大會
愈よあす決戰
けふ組合せ其他決定

本社後援

新京體育聯盟主催本社後援八大都市對抗庭球大會は三十日初秋の氣澄みわたる西公園庭球コートに於て花々しく戰の幕は切つて落されるが地元新京にては準備萬端整ひファンの血を沸せてゐる、なほ各地からの選手宿舍は日本橋通旭ホテルに決定廿九日全選手の集合を待つて組合せ其他を決定する筈である

新京觀光協會
名所寫眞懸賞募集

去る廿五日發會式を擧げた新京觀光協會では新京名所を廣く觀光客に紹介するため左記規定により名所寫眞を一般より募集することゝなつた
一、成る可く風俗を配し觀光寫眞として價値あるもの
二、取材地域　新京市街地及南嶺、寬城子
三、形狀　カビネ以上半折迄（但し必ず原版密着を附すること）
四、締切　九月廿日
五、發表　九月廿五日頃（記念公會堂に於て展覽會を催す）
六、申込　新京特別市公署調査科內
七、賞金　一等五十圓　一名　二等二十圓　二名　三等　十圓　三名　等外佳作五圓　十名

手配中の竊盜
捕はる

原籍山口縣都乃郡下松町住所不定無職橋本正一（二五）はかねて手配中のところ二十八日午前十時四十分ごろ祝町三丁目附近を徘徊中鄭、張兩刑事に逮捕された、先月二十五日興安大路鹽瀨菓子店から二十五圓の麻雀を手始めに本月二十二日までの間に同店から毛布、毛皮首捲、衣類等數回に亙つて百餘圓の金品を竊取した旨を自白した

大藏公望男
移民地視察に北行

移民地視察の爲め來京中の大藏公望男は二十八日午後五時四十分「あじあ」で新京發ハルビンに向つたが二十九日ハルビンより飛行機で佳木斯、永豐鎭、湖南營、密山、哈達河、綏化方面の移住地を視察の上來月十二、三日頃歸京の豫定である

水電開發案進捗
近く地盤調査隊派遣
明年度より三ヶ年繼續事業

滿洲國の水力電氣開發に關しては既報の如く國營とし明年度より繼續三ヶ年事業として着手する事に決定したが更に次の如き具體的な點に就て研究が進められてゐる
一、發電は國營とするも送電配給を如何にするか
二、總工費を概算三千五百萬圓とし之を如何に調達するか
三、ダムを第二松花江に構築するとしても國道局案の大林とするか、產調案の小峯門とするか

然して第一の點に就ては英國の側の如く發電のみを國營とする案が有力であり第二に就ては大體公債によることになつて居るが未だ細目決定に至つてゐない、第三は小峯門が地勢治水上有力であり且つ吉林に近い關係から土木工事を興すに有利とみられるが、之が最後決定のため近く地盤調査隊を派遣する筈である

柔劍道參加申込み
二十一チーム
各官署對抗試合近づく

本社後援滿洲帝國武道會主催の第一回滿洲國各官署對抗柔劍道試合參加申込はさる廿五日締切つたが、柔道十ヶ所劍道十一ヶ所、全員百五十名に達する申込を得て當日の盛況が豫想されてゐる
▲柔道之部　總務廳、民政部、首都警察、大同學院、營繕需品局、外交部、實業部、蒙政部、司法部、中央警察學校
▲劍道之部　國道局、實業部、總務廳、交通部、大同學院、蒙政部、財政部、軍政部、營繕需品局、首都警察廳、民政部
なほメンバー組合せは追つて發表される

板垣參謀長
二十九日歸京

連絡の爲め北安に出張中の板垣參謀長は二十九日午後四時飛行機で歸京の豫定である

新京組合教會

來る八月三十日於同教會（日本橋通八三電三—五四四九）
一、日曜學校午前九時より
一、朝拜午前十時十五分より說教「天災と人類渡瀨牧師」

日本基督教會

一、日曜學校　午前八時
二、聖書學校　同　九時
三、朝　拜　同十時十分　說教「神の悅び給ふ供物」石川牧師
四、夕拜　午後七時半　說教「希望の宗教」　石川　牧師

三上氏講演會

一燈園三上和志氏の講演會は二十九日午後七時三十分から白菊町白菊會館にて開催されるが演題は「生活と宗教」入場無料多數の來聽を歡迎すると

（寄附）

新京老松町一八伊藤幸太郎氏と東京澁谷區上智町一八小柳津五郎氏は共同して寫眞入りの滿洲國建國秘史（滿文）を出版發賣したが、右賣上高の一部二百圓を廿七日皇軍慰問金として關東軍に獻納した
▼關東局胥木政親氏は今回旅順に轉勤に際し子息の在學記念として金一封を八島小學校父兄會へ寄附

新京の名所を語る座談會（十二）
新京に欲しいもの 立派なお土產
"靈地美化運動を起したい"

矢澤氏　新京には土產物がないが、各地の名物を集めた土產館をつくつては如何でせうか、現在たとひ土產はあつても高級なもののやうでもつと安いものを要望したい、新京の土で今學校（新京中學校）では人形を作つて居ります、かう言つた風なものは新京名物としてもよいと思ひます

大原座長　大興公司ではそんな風なものをやつてゐるやうですね

米良氏　土產のない原因は滿人は土產品に對する觀念がない、滿洲の土產と言へば急ごしらへで作つたものが多く所謂土地の香と文化の香がにじみ出てゐない、高粱おこし、ヨウカンといつた類はあるが、これ等のものも隣の町から買つて來たものとなんら變りがない、お土產が出來るには文化が必要で母體が出來てそこに副產物としての「みやげ」が生れるのである、土產と言ふよりまづその母體運動たる工藝運動が必要でありませうか

奥村氏　そうです、そんな動向に向つて來てゐるのじやないでせうか

米良氏　そうです、向つて來てゐると思ひます

田口氏　陶器について見ても土は內地のもので滿洲の土で作つたものはない樣です

矢澤氏　例へば佳木斯の農民にとつても冬の農閑期の副業としてよいと思ひますその指導者は內地から呼べばより五族協和の國の事だからうんとこれを生かさなければならない支那工藝の何れを取り入れたらよいかと言ふことも問題となりませう

關口氏　靈地美化運動といふやうなものを市民運動として起したい、南嶺、寬城子方面はお墓はあるが風致は誠に殺風景です、市民の寄附を仰ぐか又は樹そのものをもつて來てあの附近を綺麗にしたいものだ、これについては市民だけでなく、內地の方からも希望者がありませう、清掃についても忠靈塔同樣市民の手に依つて行つて行きたいものです

座長　藤森さんあの邊一帶は軍用地であるがお墓は永久性のあるものですか、建設區域として

藤森氏　お墓を他の適當な處に移すことが出來るか否かは判りませんが、お墓の境內に櫻の木でも植えれば理想的ですが育つかどうか問題です、公園に植えて見て具れと言ふので日本から寄贈を受けたものもありますが今折角試植中です、何れにしても軍の方針が決まらなければ何とも申上げ兼ねます、然し聖地でありますから特別の支障なき限り出來るだけ現形をとゞめることが必要であると思ひます

寫眞＝上より附屬地の新京銀座と城內大馬路

日時　八月十二日午後四時
會場　大和ホテル會議室
出席者（順序不同）
地方事務所鯉沼副所長、國都建設局藤森庶務科長、市公署關口調査科員、商工會議所尾藤理事、奥村滿洲事情案內所長、長谷川放送局長、大原地方委員會議長、矢澤中學校長、稻川新京驛長、大興公司米良氏、田口ビューロー主任、頭道溝商務總會孫化南氏、交通會社永井支配人、松本、中馬兩課長（一般民間側）四戸友太郎氏、瀧竹三郎氏、五味武太郎氏（本社側）細川取材部長、河裾、井上兩社員

妖魔往來

（講演上映） 桃川燕二浪　内山征太郎畫

三モ

山岡勝のあとをつけて來た、宇都宮八郎、とある小茶屋へはいつて酒と飯とを注文すると、忽ちそれへ酒が來た、根が時間を潰す積りでございますからチビリ〳〵飲んでゐる。

「これ〳〵女中や」

「ハイ」

「此先一丁半か精二丁ばかりもあるか右へ曲る横町があるなあの横町へ這入ると一軒格子戸が立てゝある家がある、あれは何者の家だ」

「ハアそれは親分の家でございませう、宍戸の濤七親分の家でございます」

「ハヽア宍戸の濤七何を稼業にするのだな」

「あの何でございます、貸元をなさるので」

「はてな貸元と云ふのは夜具蒲團の損料でもするのかな」

「あれいやでございます、貸元と云ふのは博奕打のカスリを取るのでございます」

「ハヽア、博奕打か、道理こそ何うで碌な奴ではないと存じた」

「そんな事を仰有つて萬一乾分衆にでも聞かれると大變が起りますよ、乾分衆だつて四五十人もございますから」

「ハア四五十人いやさうか、大概家に寝泊りして居るのか」

「イエ乾分だつて皆家は別にございますが、四人や五人は例でもゴロチヤラして居ります」

「左様か」

六本の酒を綾り飲み御飯を済ませたのが彼是九刻半只今の一時、御當節は酒を飲みに行つても十二時になると追払はれて終ふ、警察が風紀の取締りとあつて十二時過には營業をさせませぬ、が徳川時代にはそんな事はお構ひなしだ、所に依ると酒屋が女郎屋を兼帯でやつてゐた。

其な所へ潜り込んで[illegible]でスットコ擲かれた日には堪つたものでない、翌日は睡くつて道中がはか取らないくらゐのもの、扨て宇都宮八郎は茶屋を立出でやつて参つたのは宍戸の濤七の宅、最早家内は寝静まつて人音が致しませぬ、直に叩き起して公然にお志津を救ひ出さうと思つたが何しろ博奕打の家、素直に渡す筈がない、萬一斬合となつた時は勝手がわからなくてはならぬと、ぐるり家の廻りを一と廻り廻つて勝口の處へ來ると折から便所の前の戸が一枚スーツと開いた戸を開けたのは正しくお志津、天の與へと喜んだ、八郎廻りにある垣根と云つたつて餘丈なものではございません田舎屋のことだから桑か何かで疎らに結ゐてある竹垣をバラ〳〵押し左右にわけて中へ飛込んだ。

「田原殿の娘御ではござらぬか」

「はい誰方でございますか」

「拙者だ、宇津宮八郎不思議な處で又々お助け申す、聲を立てゝはなりませぬぞ」

忽ちお志津を小脇に抱へた。其處へ飛出して來たのは蛇の島吉

「ヤア汝、小野の道場に居る青二才だな」

云はせも果てず宇津宮八郎

「ヤツ」と云ふと島吉の横腹を一つ蹴上げた。

「ウーム」

性を失つて倒れる奴には眼も呉れず、お志津を横抱へに抱へた儘逸足出して韋駄天の如く足音のみは暗を破つてばた〳〵〳〵、犬の遠吠に送られて何處ともなく姿を隠してしまつた。

お話は再び跡に戻つて田原屋のお六、女髪結お綱の所から[illegible]始めて立出でました、表に待つて居りました番頭の儀藏、

「お顔の色が悪うございます、もう決して御心配なさいますな」

と、心から慰めた。